
事業報告書

ANNUAL REPORT

平成22年度 '10.4~'11.3

社団法人 中部産業連盟

平成22年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 事業活動実績の総括	1
II. 分野別事業活動	
1. 国内コンサルティング事業活動	17
2. 研究開発事業活動	21
3. 経営革新事業活動	23
4. 国際協力事業活動	25
5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動	28
6. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動	29
7. 国際標準規格 I S O 関係事業活動	30
8. P マーク審査・研修事業活動	33
9. 情報セキュリティ監査事業活動	34
10. 日本経営管理標準（J M S）推進事業活動	35
11. 職場活性化支援事業活動	39
12. トヨタ生産方式普及事業活動	40
13. マネジメント貢献事業活動	40
14. マネジメント研修事業活動	42
15. 新規プロジェクト事業活動	46
16. 会員事業活動	47
III. 業務報告	
1. 会 勢	54
2. 会 議	54
3. 庶 務	56
4. 協力活動	56
5. 役・職員の対外的協力活動	57

I. 事業活動実績の総括（平成22.4～平成23.3）

1. 自然の脅威による文明国家日本の危機

リーマン・ショックから2年、立ち直りを見せた日本経済は、3月年度末を控え、ようやく日銀短観も上昇の気配を見せていたが、3月11日午後2時46分事態は一変した。突如東北地方にマグニチュード9.0の未曾有の大地震が起き、引き続き最大37.9mの高さまで津波が襲った。東日本は、壊滅的な打撃を受けた。

一方、経済において、3月17日の外国為替NY市場では、円相場が1ドル76円25銭に急騰し、1995年4月に記録した戦後最高値1ドル79円75銭を16年ぶりに大きく更新した。

株式市場は、大震災当日の3月11日終値10,254円から15日には、8,605円と2営業日で1,600円急落した。現在（4月12日）日経平均株価9,555円26銭、日相場は83円10銭～20銭となったが先が見えず、大変厳しい経済環境下で期末を迎えることになった。

本年度を翻って見ると、上期エコカー購入補助金などの政策により景気が下支えされてきたが、海外経済の減速に加え、円高で推移した為替の影響により、生産や輸出企業の業績が急速に鈍化した。わが国は、デフレ環境が続く中、内需の自立的回復が出来ていなかった影響は大きかった。日本経済は、2010年、多くの課題に直面し、2011年に積み残すことになった。

第一に、デフレ状態からいつになったら脱却できるのか。

第二に、財政再建と税制改正、社会保障制度の再構築は進むのか、そして、成長戦略は効果を表すのか。

第三に、国際的側面としてTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加は実現するのか。

そして、今回の東日本大震災（原子力発電所瓦解を含めて）後の次世

代を目指した復興の早期着手と実現に、国を挙げて取り組むことを期待したい。

2. 平成22年度における事業活動の概要

激動の時代を迎え、改革と取り組む産業界発展のために改革改善の支援、人材育成のための研修会、研究会、講演会など諸活動を実施した。以下、活動実績の概要を述べる。

平成22年度事業活動収入総実績は、23億7,200万円であった。

1. 国内コンサルティング事業活動

(社数)

受注先	名古屋	東京	長野	総計
企業(会員・非会員)	163	122	10	295
専門機関・公共機関	62			

(1) コンサルティング

- ・経営体質強化・改善・活性化
- ・グローバル人材育成
- ・人事制度・評価制度改善・賃金制度改善
- ・生産・物流・品質・原価・新製品開発・I S M S構築
- ・トヨタ式ものづくりシステム(T P S)導入・改善
- ・5 S ・ V M (ビジュアルマネジメント)導入

(2) 調査 官公庁等からの受託事業

- ・「中小企業のものづくり基盤技術の事業化支援」等に関する調査対象／企業、大学、研究機関
- ・「祭り」活性化のためのアンケート調査
- ・「70歳まで働ける企業」創出事業

(3) 事業再生・開発支援

1) 銀行・投資ファンド等の金融機関とタイアップしたコンサルティング支援

- ・金融・財務・M&Aソリューションの提供

2) 企業及び事業の再生コンサルティング (16プロジェクト)

- ・M&A検討プロジェクト
- ・企業再生に関わる事業デューデリジェンスと経営計画作成
- ・資金調達円滑化支援

(4) 企業内研修

- ・経営幹部・上級管理職育成プログラム (5社)
- ・ビジネス・コーチング (3社)
- ・マーケティングと営業力向上プログラム (2社)
- ・ものづくり現場改善トレーナー (リーダー) 養成塾

製造部門長 13社

改善リーダー 16社

2. 研究開発事業活動

(1) 論文発表と受賞

第62回全国能率大会 (主催：(社)全日本能率連盟)

①「全日本能率連盟賞」受賞 (第61回大会発表論文)

M I Pによる危機突破マネジメントの提案

コンサルタント 花井 康孝

VM手法によるメンバー参画型チームマネジメント

コンサルタント 原 裕二

②(社)全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 梶屋 宣之

表彰牌 西川 正、山田 恵

(2) 中産連マネジメント大会

・第23回マネジメント大会（名古屋）

平成22年11月15日 名古屋東急ホテル 参加者412名

大会テーマ「動き出した未知への船出。何が課題か！

経営システムとモノづくり」

・第17回東京マネジメント大会

平成22年10月6日 アルカディア市ヶ谷 参加者134名

大会テーマ「業績向上に直結する管理・改善活動を！」

3. 経営革新事業活動

(1) 60Bankプロジェクト 2社4件

(2) 中小企業診断士登録養成課程（第3期）（中小企業庁認可）

平成22年3月9日～平成23年3月27日（1年間）

受講生19名

(3) 新産業・技術展

平成23年3月17日、18日（2日間） 参加者205名

会場：ウィンクあいち8階 展示・講演

後援：中部経済産業局、愛知県、岐阜県、(財)あいち産業振興機構

4. 国際協力事業活動

(1) 海外での研修事業への講師派遣

・フィリピン、ベトナム、インドネシア、エジプト（AOTS）

・イラン（APO）

・コロンビア〔4回 115日間〕（JICA）

・カタール、ベトナム、タンザニア

(2) 国内での受託研修

・JICA

- 「日墨交流計画」 7名 5/7～10/8 (110日)
- 「エチオピア」 20名 5/12～5/21 (10日)
- 「コロンビア」 15名 11/15～11/26 (10日)
- 「メルコスール地域」 9名 1/27～3/11 (32日)
- ・AOTS (7件)
- ・OVTA (2件)
- (3) 海外企業のコンサルティング
 - シンガポールF社 平成22年4月～平成23年2月 1件
- (4) 公開セミナー (英語コース)
 - ・日英対訳で学ぶドラッカー 4/14～10/20
 - ・組織的に成功する英語学習 5/25
 - ・異文化理解と円滑なコミュニケーション 6/22
 - ・海外で成功する改善業務 7/27
 - ・MBAの英語特別プログラム 2/6～5/29
- (5) 第14回「エグゼクティブ短期特別プログラム」
 - 米国ノートルダム大学大学院／中産連共同企画
 - 現 地：6/3～6/24 (22日間) 8名 (事務局1名含む)
 - 事前研修：平成22年1月～5月
- (6) 「ものづくりのリーダー育成」支援事業 (JICA)
 - ・インド・デリー「製造業経営幹部」 2回
 - ・インド・チェンナイ「製造業MBA養成」 1回
- (7) 「中小企業育成」支援事業〔VSMEプロジェクト〕(JICA)
 - ・インド 平成22年3月～平成23年2月 6回 67日間
- (8) 「現場改善推進リーダー育成」支援事業 (ケープタウン大学経営大学院)
 - ・南アフリカ 平成22年7月

5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(1) コンサルティング 72プロジェクト

- ・ VM (Visual Management 目で見る経営) の導入
- ・ フレキシブル生産システムの確立
- ・ 現場改善によるコストダウン
- ・ 5S活動 在庫削減とリードタイム短縮の推進
- ・ 間接部門の5S・ファイリング・VMの推進
- ・ 人事制度の革新と組織活性化
- ・ ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO22000認証取得のための品質保証体制の確立

(2) 企業内研修 66プロジェクト

- ・ CAP (中産連アセスメントプログラム) による人事評価と研修
- ・ アクションラーニング研修
- ・ リーダー研修、コーチング研修

(3) 公開セミナー 参加者958名

- ・ VM/見える化事例発表会
平成22年6月14日 アルカディア市ヶ谷 参加者147名

(4) 工場見学会

- ・ (株)埼玉富士 2回65名
- ・ (株)日立コンピュータテクノロジー&マニファクチャリング 2回91名

6. 長野信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(1) コンサルティング (11社)

- ・ A-KOMIK導入
- ・ 生産効率化
- ・ 研究企業指導
中央会チャレンジ事業「技術伝承と多能工育成」

(2) 公開セミナー 延べ85人

・ 監督者交流会

6期 4/22～9/29 6回

7期 10/28～3/29 6回

7. 国際標準規格 ISO関係事業活動

平成22年度 公開研修等

公 開 研 修	実施回数 (回)	延参加人数 (人)
ISO9001研修 (含 TS16949)	107	1,034
9001審査員コース (3日、5日間)	3	17
VDA TS16949審査員・1st 2ndコース・6.3監査	4	8
ISO9001 (計)	114	1,059
ISO14001研修	89	949
14001審査員コース (3日、5日間)	4	20
欧州環境視察団 (7/11-18) ※1	1	8
ISO14001 (計)	94	977
ISO27001	4	19
Pマーク	7	42
ISO27001・Pマーク (計)	11	61
OHSAS18001研修	7	56
ISO22000 (HACCP) 研修	5	33
計測器セミナー	1	13
VM研修	2	19
ISO研究会 ※2	6	37
その他 (計)	21	158
総 合 計	240回	2,255名

※1 第13回 欧州環境視察団を平成22年7月11日～18日に実施。

(スペイン・トルコ：8社8名参加／事務局を含め総勢10名参加)

※2 「H22年度 ISO研究会」を平成22年6月7日～平成23年3月10日 (全6回) 開催 (研究会員：9社9名)

8. Pマーク審査・研修事業活動

(1) プライバシーマーク審査事業

(助)日本情報処理開発協会（J I P D E C）審査指定機関（認定コード19）

エリア：中部地区（愛知、岐阜、三重、石川、富山）

審査申請・受付件数 382件 現在登録数 643件

9. 情報セキュリティ監査事業活動

(1) 監査・コンサルティング 6社

(2) 企業内研修 4社

(3) 公開セミナー等 参加者112名

(4) 視察団

・米国クラウド先進企業視察団 参加10名

平成22年10月26日～30日（5日間）

シアトル、サンフランシスコ、シリコンバレー

・アジア地域クラウド先進企業視察団 参加9名

平成23年3月1日～6日（6日間）

シンガポール、ベトナム（ハノイ）

10. 「日本経営管理標準（JMS）」推進事業活動

(1) JMS推進機構

1) 理事会

・平成22年6月10日

・平成21年度年間活動報告、平成22年度年間活動計画審議

2) 企画委員会

・第1回 平成22年5月12日

平成22年度年間活動計画案の説明と討議

- ・第2回 平成22年7月30日
「現場実践研究会」の討議
 - ・第3回 平成22年10月21日
第1回「現場実践研究会」日本車輛製造株豊川製作所
 - ・第4回 平成22年12月1日
第2回「現場実践研究会」ヤマハ発動機株AM事業部
- (2) コンサルティング
JMSならびにトヨタ生産方式を柱とした企業変革 31社
- (3) 企業内研修 24社
- (4) Back Upプログラム 2回 参加者23名
- (5) 公開セミナー
- ・実践型セミナー 7回 参加者103名
 - ・モノづくり経営実践セミナー 平成22年5月27日 参加者25名
日経ものづくり共催
 - ・JMSセミナー 10回 参加者89名
(階層別・プロセス別)
 - ・営業力強化セミナー 2回 参加者27名
- (6) JMS特別講演
- 1) 「組織で目標を達成するためのマネージャーの“行動”実践ヒント集」
発刊報告会
- ・平成22年7月9日
 - ・トヨタテクノミュージアム産業技術記念館大ホール 参加者262名
 - ・講師 JMS推進機構理事長
新美 篤志氏 (トヨタ自動車株代表取締役副社長) ほか
- 2) 「未来志向で語る、経営と管理。」
- ・平成22年11月9日

- ・ウインクあいち 参加者80名
- ・講師 トヨタ紡織株特別顧問 太田 和宏氏 ほか

11. 職場活性化支援事業活動

(1) 調査・報告

「企業の職場活性化とメンタルヘルスに関するアンケート調査」
報告書発刊

(2) 相談窓口

相談件数 4社

(3) 企業内研修 20社

12. トヨタ生産方式普及事業活動

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車株 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	春 季 (第 63 回)	秋 季 (第 64 回)
P A R T I 「改善の進め方」講座 講師：トヨタ自動車株 生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名	平成22年 5月19日 ～21日 (3日間) 参加者：302名	平成22年 9月15日 ～17日 (3日間) 参加者：250名
P A R T II 「作業改善」研修 講師：トヨタ自動車株 生産調査部 部長 福永 恵一氏 主査 二之夕裕美氏 松本 光一氏 実習現場 (春季) アイシン精機株、(株)東海理化 トヨタ紡織株、豊田合成株 (秋季) アイシン精機株、(株)デンソー トヨタ紡織株、豊田合成株	平成22年 6月13日 ～18日 (6日間) 参加者：46名	平成22年 10月17日 ～22日 (6日間) 参加者：48名

13. マネジメント貢献事業活動

- (1) 第43期「経営後継者養成アカデミー」(J E A) 参加者2名
期 間：平成22年4月～平成23年3月 全日制 (220日間)
修了生：260名
- (2) 第1期技術経営研究会 (M O T) 参加者12名
共催：日本政策投資銀行
期間：平成22年5月～平成23年3月 (14回)
- (3) 外国人材活用研究会 参加者35名
期間：平成22年7月～平成22年10月 (4回)
- (4) 「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業 経済産業省受託事業
期間：平成19年4月～平成22年3月 (4年間)
参加留学生：69名 (中部地域第3期生)
参加大学：29大学
- (5) 受託事業
環境パートナーシップ・CLUB (E P O C) 総合事務局受託
設立：平成12年2月17日
会 長 松下 雋氏 (日本ガイシ(株)代表取締役社長)
副会長 川本 隆一氏 (株 I N A X 代表取締役社長)
副会長 佐伯 卓氏 (東邦ガス(株)代表取締役社長)
副会長 小池 利和氏 (ブラザー工業(株)代表取締役社長)
副会長 新美 篤志氏 (トヨタ自動車(株)代表取締役副社長)
副会長 宮池 克人氏 (中部電力(株)代表取締役副社長執行役員)
副会長 加藤 宣明氏 (株デンソー代表取締役社長)
総合事務局長 竹内 弘之 (社中部産業連盟副会長)
ほか理事12名 監事2名 顧問10名
会員数 273社(者) (平成23年3月末日現在)

14. マネジメント研修事業活動

(1) 公開セミナー等

分 野	プロジェクト数	社 数	参加者数
(1) 公開セミナー等	355	2,759	4,088
1) フォーラム	7	135	222
2) 研究会	2	23	24
3) 海外洋上研修「創造の船」	1	73	133
4) 公開研修	324	2,348	3,336
5) 視察団	2	14	21
6) 海外研修団受入	14	166	352
7) 補助事業	1		
8) 受託事業	1		
9) 受託事務局	3		
(2) コンサルティング	18		
(3) 企業内研修	149		
合 計	522	2,759社	4,088名

1) フォーラム

①モノづくり応援フォーラム

テ ー マ (内 容)	開催日	講 師	参加者数
頑張る日本の製造業!!	平成23年 3月22日	ダイハツ工業株 取締役会長 白水 宏典氏 他9名	163名

②ヤング・エグゼクティブ・フォーラム (全12回コース)

③モノづくりと人づくり 心の伝承塾

(経営者・役員コース・管理者コース・中堅コース/計4コース)

2) 研究会

①モノづくり研究会 (全7回コース)

②産業技術研究会 (全5回コース)

3) 海外洋上研修

第26回中産連 “創造の船”

期 間：平成22年10月24日～10月30日 (7日間)

訪問都市：北京・天津・上海・深圳・香港

4) 視察団

① S A E 2010国際自動車技術会と米国新産業視察団

期 間：平成22年4月12日～4月18日（7日間）

訪問都市：デトロイト、サンノゼ、サンフランシスコ

② インド産業視察団

期 間：平成23年3月8日～3月14日（7日間）

訪問都市：デリー、バンガロール、アグラ

5) 補助事業

全国中小企業団体中央会より補助金を受け、「ものづくり分野の人材育成・確保事業（ものづくり担い手事業）」を実施

6) 受託事業

経済産業省中部経済産業局より

「次世代自動車における人材育成環境整備に係る調査事業」受託

7) 受託事務局

① 社日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部

V E 研修、中部建設V E 研究会、原価企画とV E 研究会、V E 効率化研究会、中部V E 大会、中部V E 懇話会その他を実施

② 日本設備管理学会 本部

業務受託（総会・シンポジウム、大会の実施）

③ 日本設備管理学会 東海支部

業務受託（総会・シンポジウムの実施）

15. 新規プロジェクト事業活動

(プロジェクトチーム)

第1期木曾駒塾（次世代経営リーダー啓発の場）の開講

(1) 塾の目的

- ・ 中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の思いによる中部産業界を担う高い志を持ったリーダーの育成塾
- ・ 中部産業界ゆかりの地にちなんで「木曾駒塾」と名づけ、発起人の推薦する図書熟読と講義による思いの共有とディスカッションによる切磋琢磨を中心とした研修
- ・ 中部産業界の将来を担うリーダー候補 29社から29名参加

(2) 塾の概要

①発起人〔50音順〕（役職名は開講時のもの）

岡田 邦彦氏（J.フロント リテイリング(株)相談役）

小澤 正俊氏（大同特殊鋼(株)代表取締役会長）

川口 文夫氏（中部電力(株)相談役）

柴田 昌治氏（日本ガイシ(株)代表取締役会長）

須田 寛氏（東海旅客鉄道(株)相談役）

多賀 潤一郎氏（イビデン(株)最高顧問）

内藤 明人氏（リンナイ(株)代表取締役会長）

渡辺 捷昭氏（トヨタ自動車(株)代表取締役副会長）

竹内 弘之（社中部産業連盟副会長）

【コーディネーター】

青井 倫一氏（慶應ビジネススクール教授(元同スクール校長)）

②カリキュラム

第1講から第6講まで全6回の講義とグループ討議

なお、第2講から第4講は、木曾駒高原ホテルでの2泊3日の合宿にて実施

テ ー マ	講 師	開 催 日	開 催 場 所
第1講 「ふたつの経営論 (交通経営、観光経営)」	東海旅客鉄道株 相談役 須田 寛氏	平成22年 8月25日	名古屋東急ホテル
第2講 「『漱石』をたずねて」	イビデン株 最高顧問 多賀 潤一郎氏	平成22年 10月8日	木曽駒高原ホテル
第3講 「経営と武士道」	リンナイ株 代表取締役会長 内藤 明人氏	平成22年 10月9日	木曽駒高原ホテル
第4講 「不易流行」	大同特殊鋼株 代表取締役会長 小澤 正俊氏	平成22年 10月9日	木曽駒高原ホテル
第5講 「規制緩和の歩みと市場経済を考 える」	中部電力株 相談役 川口 文夫氏	平成22年 12月3日	中産連ビル
第6講 「環境変化と次世代リーダーへの 期待」	トヨタ自動車株 代表取締役副会長 渡辺 捷昭氏	平成23年 1月21日	中産連ビル

③成果発表会 平成23年3月2日 名古屋東急ホテル

発起人、講師、参加企業の会長、社長をはじめ経営者の方々をお招きし実施。

16. 会員支援事業活動

- (1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) 発刊

毎月：2,500部

- (2) 会員懇話会 (無料講演会)

第497回「次世代自動車を取り巻く現状と未来」

講 師：伊藤 暢人氏 (日経ビジネス副編集長)

参加者：180名

第498～第506回 (9回) 延参加者：1,245名

- (3) ビデオサービス

- (4) 受託事務局

- ・日本経営近代化協会(SAM)名古屋支部 例会開催：毎月1回
- ・日本広報学会中部部会

(5) 中産連人材育成フォーラム

「中産連事業紹介の集い」参加者217名

開催：平成22年12月7日

3. 業務報告

(1) 会勢 789社 (入会26社、退会12社)

(2) 会議

・総会

と き 平成22年6月17日

と ころ 名古屋東急ホテル

出席会員 521会員

・理事会

第261回理事会

と き 平成22年5月21日

と ころ 名古屋観光ホテル

出席者 理事44名、監事1名

臨時理事会

と き 平成22年6月17日

と ころ 名古屋東急ホテル

出席者 理事45名、監事2名

第262回理事会

と き 平成22年11月18日

と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル

出席者 理事45名、監事1名

第263回理事会

と き 平成23年3月23日

と ころ 名古屋観光ホテル

出席者 理事45名、監事1名

・第2回評議員懇談会・交流会

と き 平成23年2月7日

と ころ キャッスルプラザ

出席者 33名

Ⅱ. 分野別事業活動

中産連では、次の5事業を実施している。

1. コンサルティング事業
2. セミナー事業（企業内）
3. セミナー事業（公開）
4. 国際協力事業
5. 受託事務局事業

5事業については、事業部別の事業活動として、報告する。

1. 国内コンサルティング事業活動

- (1) 本部（名古屋）163社、東京本部122社、長野コンサルティング部10社に対してコンサルティング、教育研修を実施
- (2) 62の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育研修を実施

受注先	本部	東京	長野	総計(件)
会員企業ならびに非会員企業	163	122	10	295
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルティング・調査)	62			

- * 数値は、後述
3. 経営革新事業活動
 5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動
 6. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動
 7. 国際標準規格ISO関係事業活動
- 含む

(コンサルティング・グループ〔総合系〕)

経営計画策定から人事諸制度策定・改定、業務改善に関するコンサルティング、各種の教育・訓練、調査・報告を実施。

(1) コンサルティング

- 1) 各種の経営体質強化・改善、活性化
経営環境の変化に対応するための社内体制の見直しから組織づくり・変更、また環境変化に適応可能な方針策定、経営計画策定、新規事業創出
- 2) グローバル人材育成
海外戦略に対応した人事制度づくり
- 3) 業績・実績対応型人事諸制度への転換や既存の評価制度見直し
賃金制度の見直し、具体的には給与から退職金までの制度、関連する評価制度等の策定、改定

(2) 企業内研修

- 1) 管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修
管理・監督職、新人・新入社員の早期育成に関する研修
- 2) 各種の機能別研修
マーケティング・販売戦略の見直しと人事評価の研修
- 3) コンプライアンスや業務改善等の新しいテーマの教育訓練
管理・間接系の業務効率アップに関する教育

(コンサルティング・グループ〔生産系〕)

生産・物流・品質・原価・新製品開発等に関するコンサルティングおよび企業内研修を実施

(1) コンサルティング

- 1) トヨタ式ものづくり改善
JIT・トヨタ生産方式によるものづくり改善・改革で自動車関連の協力会や部品メーカー、また自動車以外の業種で実施し、人づくり改革までを支援
- 2) モノづくり改善支援
5S・VMを中心にモノづくりの基本整備からの改善を支援
- 3) 製造業再活性化支援
金融業や支援機関とタイアップし、経営診断・モノづくり診断を行い、企業を再活性化、経営を支援
- 4) 技能伝承や「匠」のモノづくり、人づくり
各種技能の継承、若手への伝承のために、モノづくり・人づくりの両面から支援
- 5) 内部統制・リスクマネジメント・ISMS
中堅企業を中心に、内部統制・リスクマネジメント・ISMS構築からレベルアップまでを支援

(2) 企業内研修

管理職から中堅・新入社員研修までに対して、製造系のシステム構築、改善、品質、5S・VM等に関して幅広い研修を実施

(トヨタ流改善支援部)

(1) コンサルティング (23社)

トヨタ流の改善手法を基本とした製造、企画・事務、販売などの関連のコンサルティングを実施。機能別の個別改善に加え、全体をスルーで見たマネジメント改善も実施。

- 1) 経営改善
- 2) 現場改善
- 3) しくみ見直し (品質保証、生産管理、原価管理)
- 4) 人材育成 (管理職、現場リーダー)

(2) 企業内研修 (6社)

トヨタ流の改善手法を基本とし、企業からの依頼に沿った製造、企画・事務、販売などの企業内研修の実施。

- 1) マネジメント手法
①経営体系 (方針管理、TQM、海外工場運営)

- ②機能別（品質保証、原価管理、設備管理、TPS）
- ③職場運営（管理能力プログラム、小集団活動、リーダーシップ）

2) 集合教育

- ①マネージャー教育（管理者、現場リーダー）
- ②技能系教育

（事業再生・開発支援部）

- (1) 銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティングの企画
- (2) 金融・財務・M&Aソリューションの提供を主目的とし、経営層へアプローチできるコンサルティング
- (3) 企業および事業の再生コンサルティングに対する各種ソリューションの提供
- (4) 実績（16社）
 - 1) M&A検討プロジェクト支援（1社）
 - 2) 経営サポートプロジェクト（2社）
 - 3) 企業再生に関わる事業デューデリジェンスと経営計画作成支援（8社）
 - 4) 資金調達円滑化支援（2社）
 - 5) 収益改善モニタリング（1社）
 - 6) その他（2社）

（マネジメント指導グループ）

- (1) コンサルティング
 - 1) 事業戦略計画、マーケティング、物流に関するコンサルティング（3社）

事業戦略、マーケティングを中心にし、ビジネスモデルの構築、ブランドマネジメント、販売チャネル戦略、地域戦略の立案、キャンペーン、ネット通販、展示会など販促の立案、提案型営業での顧客の攻略、物流システムの構築、営業の生産性向上などのテーマでコンサルティングを実施した。
 - 2) 製造業の競争力強化支援のコンサルティング

プロジェクト名	対象企業	内 容
全社的改善プログラムの推進	部品製造業31社	ものづくり現場改善評価基準書を活用した、現場改善とリーダー育成のコンサルティング
リーン手法による事業プロセスの改革	大型船舶修理業 プラント設備製造業	順序化・流れ化・見える化をキーワードとした、リードタイム短縮改善活動

(2) 企業内研修

- 1) 経営幹部、上級管理職育成プログラム（5社）

役員候補、部長およびコア人材を中心に組織横断でプロジェクトチームの編成を行い、マネジメント基礎知識を習得し、ビジネスシミュレーションを実施し、競争戦略、マーケティング、ビジネスモデルの事例研究をし、開発、営業、調達、生産、人事、財務の部門連携を図り、自社の事業戦略を構築する。2社が終了し、3社が継続中。
- 2) ビジネス・コーチング（3社）

実際のビジネスの現場で最も有効な傾聴、承認、強化、質問の4つの基本スキルを実践訓練によって習得する。管理職がコーチングの基本技術を習得することによって、社員一人一人が持っている

能力を最大限に発揮させ、高い目標に挑戦する自律性を引き出す。2日間コースを3社で実施。

3) マーケティングと営業力向上プログラム (2社)

新市場への参入、新製品の拡販、新規、深耕開拓、増点拡販、価格競争防御のためのマーケティング戦略を立案し、営業力の向上の研修会を実施する。事前ヒアリングを行い、顧客攻略シートを事前準備、研修会では、マーケティング戦略を立案し、営業様式を研究、ロールプレイングを実施。参加者の営業力を5段階評価し、徹底訓練により営業力の2ランクのアップを目指す。さらに実際の営業活動を実践してみた結果をフォローアップする。4-5日間コースを2社で実施。

4) ものづくり現場改善トレーナー (リーダー) 養成塾

中産連総合研究所を中心に、個別企業でのコンサルティングを通じて長年にわたって蓄積されてきたトヨタ生産方式をベースとした現場改善実践手法を「現場改善トレーナー (リーダー) 養成」プログラムとして統合し産業界に提供。

研修コース名	対 象	参加者	期 間	総日数
ものづくり現場改善トレーナー養成塾	製造部門長 改善リーダー	13社 16名	平成22年6月18日～ 平成23年3月17日 (終講式)	28日

(経営企画営業支援部)

(1) コンサルティング等の受注 (42社・団体・機関)

生産現場の改善コンサルティング、人事諸制度改革コンサルティング、経営革新支援コンサルティング、企業再生コンサルティング等を受注

1) コンサルティング

幅広い分野で、各種のコンサルティングを受注

2) 調査・報告・研究

① 中小企業のものづくり基盤技術の事業化支援等に関する調査 (中部経済産業局受託)

文献調査と企業、大学、研究機関等へのヒアリング調査を実施して、調査報告書を作成

② 「祭り」活性化のためのアンケート調査 (県商工会受託)

「祭り」の現状を把握し、今後への提言を実施

③ 「70歳まで働ける企業」創出事業 (愛知労働局受託)

- ・ 65歳まで希望者全員の雇用が確保される制度あるいは70歳まで働ける制度の導入に向けた実践的研究を実施し、制度普及プランを作成
- ・ 有識者・労使等関係者の推進会議を設置し、制度普及プランを作成して、制度導入に取り組む企業の選定と制度導入に向けた実践的研究および制度導入のための周知・広報

(2) 企業内研修の受注 (43社・団体・機関)

管理職から中堅・新入社員研修までの全社的階層別研修、品質管理研修、CO₂排出量削減研修等の企業内研修を受注

(3) 公開セミナー (参加者5人)

任意団体と協力し、マネジメントに関わる公開研修を実施

カリキュラム：①ビジネスシミュレーション ②BMPによる動機づけ ③日本の中小企業の特徴

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞状況

1) 第62回 全国能率大会

①第Ⅰ部 平成22年7月13日、当連盟職員の論文が受賞

全日本能率連盟賞（第61回大会発表論文）

- ・ M I P（Management by Intelligent Process）による危機突破マネジメントの提案

コンサルタント 花井 康孝

- ・ V M手法によるメンバー参画型チームマネジメント

～プレーイングマネージャ、経験・力量不足の管理者のマネジメントを根底から変える！～

コンサルタント 原 裕二

②第Ⅱ部 平成22年8月26日、当連盟職員が研究論文を発表

発表論文（第62回大会発表論文）

- ・ マネジメントシステムを活性化する法規制管理

研究員 熊澤 晶子

- ・ V M（Visual Management）による個別受注生産の効率化

コンサルタント 鈴木 秀光

- ・ V M手法で進める部品納期管理の改善

コンサルタント 鈴木 理能

- ・ 新たなProcess Design & Chain Management 『I-P-O』法

「設計／試験」現場に潜む【5大ロス】と【仮説・検証解】

主任コンサルタント 町野 隆美

(2) 平成22年度 全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 梶屋 宣之

表彰牌 西川 正、山田 恵

(3) 専門書、専門誌、テレビ出演などの活動

- ・ 「月刊食品工場長」日本食糧新聞社

“食品工場のマネジメント力の向上ー先進的異業種から食品工場への適用ー”

山崎 康夫（平成22年3月号～平成23年2月号）

- ・ 「工場管理」日刊工業新聞社

“そのまま使えるモノづくり現場の英語コミュニケーション”

松崎 久純（平成22年4月号～平成23年3月号）

- ・ 「工場管理」日刊工業新聞社

“【特集】改善活動の成果を経営数字に反映させよう！

収益V M／見える化による収益改善活動の進め方”

五十嵐 暁・小林 啓子・山口 郁睦（平成22年6月号）

- ・ 「ダンガン人が育つ！アクションラーニング実践術」日刊工業新聞社

横山 太郎（平成22年11月）

- ・「月刊人事マネジメント」(株)ビジネスパブリッシング
“横山太郎が語る現場のアクションラーニング”

横山 太郎 (平成23年1月号～3月号)

(4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発したマネジメントノウハウをとり
まとめ、名古屋・東京で発表

1) 第23回マネジメント大会開催 (名古屋)

開催日：平成22年11月15日

会場：名古屋東急ホテル

大会テーマ：動き出した未知への船出。何が課題か！経営システムとモノづくり

参加人数：412名 (第1部会 232名 第2部会 180名)

発表テーマと発表者：

記念講演「産業観光」と地域経済

東海旅客鉄道(株) 相談役

(株)中部産業連盟 顧問 須田 寛

・第1部会

事例発表「モノづくり、人づくりコンサルティング」

東海光学(株) 本社工場工場長 仲神 哲也 氏

「儲かる工場作り」のコンセプトとモノづくり・人づくり

主席コンサルタント 鈴木 敏雄

「情報セキュリティマネジメントシステム全社展開への挑戦」

上席主任コンサルタント 渡辺 季幸

～多品種少量生産で高収入を実現する～

「XX (ダブルエックス) フォーメーション・セルラインの編成と運用技術」<組立編>

(株)イングスシナノ 代表取締役社長 小林 秀年 氏

取締役 宮坂 要平 氏

上席主任コンサルタント 中島 俊宏

・第2部会

「経営幹部トレーニング、コア人材育成プログラム」

上席主任コンサルタント 松井 茂

主席コンサルタント 大竹 裕一

「企業におけるメンタルヘルスに関する取組みの現状と課題」

－アンケート調査結果を踏まえて－

主任研究員 杉藤 里美

「新しい時代を切り開いていくイノベーションの創出」

－企業成長のための事業変革と人事・組織改革－

主任コンサルタント 柘植 吉則

コンサルタント 橋本 豊

2) 第17回東京マネジメント大会

開催日：平成22年10月6日

会場：アルカディア市ヶ谷

大会テーマ：「業績向上に直結する管理・改善活動を！」

参加人数：134名

発表テーマと発表者：

「職場力向上」による機能不全に陥った組織の再生

－マネージャー機能、リーダー機能、プレイヤー機能を職場全員で強化する－

コンサルタント 原 裕二

FMS（フレキシブル生産システム）で実現する、製造リードタイムの短縮

主任コンサルタント 丸田 大祐

主任コンサルタント 佐藤 直樹

全部門における新発想のムダ改善

－VMを活用したムダ抽出からのコストダウン活動－

上席主任コンサルタント 山崎 康夫

事例発表 人が活きる、職場が活きる、VM手法の活用と進化

日本ブレーキ工業(株) 千葉事業所 事業所長 小野田弘文 氏

経営推進グループ 鈴木 直貴 氏

3. 経営革新事業活動

(経営革新事業部)

(1) 【60Bank】プロジェクト (2社4件)

コンサルティング導入の際、経営課題の改善に取り組むためのノウハウと人員不足のため改善活動がままならない中堅・中小企業の悩みの解決と、豊富な経験・ノウハウを持ったOB人材の活躍の場を提供する。

(2) 【中小企業診断士登録養成課程】プロジェクト (受講生19名)

中小企業診断士を養成する機関として、平成20年2月29日に正式認可のもと、本年度は第3期として3月9日に開講。19名が受講し、全員修了した。

(3) 「新産業・技術展」プロジェクト (2日間延べ205名参加)

未来の日本を牽引する「新産業・新技術」をキーワードに、中部地域産業の発展に貢献するコミュニケーションの場を「シンポジウム+展示会+ビジネスマッチング」のコンセプトイメージをもとに開催していくプロジェクト。

スタートの年である本年度は開催企画に必要なネットワーク育成に注力し、「新産業・技術シンポジウム+ミニ展示会」を開催。

(後援：中部経済産業局、愛知県、岐阜県、(財)あいち産業振興機構)

・未来社会シンポジウム2011

テ ー マ	開催日	開催場所	講 師	参加者数
「技術力×エネルギー＝明るい未来」 ～スマートグリッドが導く “近未来・社会環境”へ向けて	平成23年 3月17日(木)	ウインクあいち 8F展示 講演会場	JAXA宇宙科学研究所 宇宙探査工学研究系 博士 久保田 孝 氏 トヨタ自動車(株) 技術統括部 技術戦略室 主査 担当部長 松本 優 氏 ほか	205
「家電×ロボット×IT＝快適な空間」 ～ハード&ソフトが連携する “近未来・社会生活”へ向けて	平成23年 3月18日(木)		中部電力(株) 経営戦略本部 部長 渡邊 広志 氏 パナソニック電工(株) 副理事 池田 多圭之 氏 ほか	

(4) コンサルティング (4社)

- ①収益改善コンサルティング
- ②後継者育成支援
- ③ベストオペレーション支援コンサルティング
- ④人事制度改革

(5) 企業内研修 (9件)

- ①ものづくり伝承塾
- ②加工技術向上セミナー
- ③生産管理技術改善セミナー
- ④リーダー養成研修
- ⑤管理職研修
- ⑥中長期経営計画策定研修

4. 国際協力事業活動

(国際研修事業グループ)

主として、海外でコンサルティングや研修を実施するものと、国内で外国人研修員を受入るものに大別される。

(1) 海外での活動

1) 各種団体が海外で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	日数
管理者としての基礎	AOTS	フィリピン	平成22年9月6日～10日	4日
人事・組織の問題解決のための経営管理技術の向上	AOTS	ベトナム	平成22年10月3日～11日	4日
リーダーシップ養成	AOTS	インドネシア	平成22年12月12日～18日	4日
Training on Trainers (TOT) for Total Productive Maintenance (TPM) Practices	AOTS	エジプト	平成23年1月22日～31日	4日
International Kaizen Seminar	APO	イラン	平成22年7月9日～17日	9日
コロンビア・有償資金協力専門家（中小零細企業育成）講師派遣	JICA	コロンビア	平成22年1月21日～4月18日 平成22年7月7日～8月15日 平成22年9月1日～9月26日 平成22年10月13日～11月12日	115日

2) 国内企業、各種団体・機関から委託された海外研修

コース名	実施国	期間	日数
Introduction seminar of Japanese management style	カタール	平成22年6月27日～6月28日	2日
中小企業の経営スキル向上のためのKAIZENプロジェクト	ベトナム タンザニア	平成22年6月19日～12月15日	79日

(2) 国内での活動

1) 国内の受託事業

① JICAから、4コースを受託し、実施

コース名	期間	研修員数	日数
「日墨交流計画 全社の品質・生産性向上研修」コース	平成22年5月7日～10月8日	7名	110日
「エチオピア品質・生産性向上計画調査」コース	平成22年5月12日～5月21日	20名	10日
コロンビア「品質管理・改善」コース	平成22年11月15日～11月26日	15名	10日
「メルコスール地域における中小企業の経営・生産性向上」コース	平成23年1月27日～3月11日	9名	32日

* 若手企業人、行政関係者などを対象としている。

② JICAから、「専門家人選・派遣に関するデータ分析及び報告書」作成業務（専門家等の人選方針・人選制度改善のための参考資料として活用）を受託し、実施

2) 各種団体・機関が国内で実施する研修事業への講師派遣

コース名	実施機関	延件数
各種経営管理研修コース	AOTS	7件
ものづくり現場改善と生産管理	OVTA	1件
カイゼンと5S	OVTA	1件

3) 国内企業・団体から委託されたコンサルティングおよび研修に講師を派遣

コース名	国内団体・企業	期間	日数
日本的経営に基づくモノづくり	H社	平成22年5月26日	1日
技術改善職場コンクール	名古屋市交通局	平成22年12月7日	1日
経営者セミナー	H信用金庫	平成23年2月18日	1日

4) 海外企業から委託された国内のコンサルティングの実施

コース名	海外企業	期間	延件数
Lean Six Sigma program	シンガポールF社	平成22年4月～平成23年2月	1件

5) 公開セミナー

セミナー名	期間	日数
経営幹部・次世代リーダーのための「日英対訳で学ぶドラッカー」	平成22年4月14日～10月20日	7日
組織的に成功する英語学習 —語学習得の具体的方法	平成22年5月25日	1日
海外現地法人で活かす「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」	平成22年6月22日	1日
海外で成功する改善業務「指導の仕方」「指導の順序」	平成22年7月27日	1日
米国ノートルダム大学／中産連共同企画 第14回 「エグゼクティブ短期特別プログラム」	現地研修：平成22年6月3日～24日 事前研修：平成22年1月～5月	22日 2日
「MBAの英語特別プログラム」	平成22年2月6日～5月29日	8日

(マネジメント指導グループ)

(1) 「ものづくりのリーダー育成」支援事業 (インド)

インド政府が推進する産官学連携事業：V L F M (Visionary Leadership For Manufacturing) プログラムに、日本政府とともに協力し、現地への専門家派遣と日本国内への招聘研修を実施 (実施機関：J I C A)

コース名	実施都市	参加者	期 間	日 数
製造業経営幹部育成	デリー	52名	平成22年9月15日～9月22日	8日
製造業MBA養成	チェンナイ	30名	平成22年10月3日～10月8日	6日
製造業経営幹部育成	デリー	52名	平成23年2月3日～2月7日	5日

(2) 「中小企業育成」支援事業 (インド)

上記V L F Mプログラムと並行して実施している、大企業と中小企業の連携を強化・育成し、インド製造業の基盤構築を推進する事業：V S M E (Visionary Small & Medium Enterprise) プログラムに、専門家を定期的に派遣し、支援

コース名	実施都市	参加企業・参加社数	期 間	日 数
VSME プロジェクト	ブネー	一次部品製造業5社 二次部品製造業23社	平成22年 3月26日～4月10日 5月9日～5月17日 6月19日～7月3日 8月7日～8月16日 9月23日～10月2日 平成23年 2月8日～2月14日	67日
	日 本	マニュアル作成支援	平成23年 1月17日～1月28日	11日

(3) 「現場改善推進リーダー育成」支援事業 (南アフリカ)

現地ケープタウン大学経営大学院と連携し、産業界の改善推進リーダーを育成する事業として、現地ワークショップへ専門家を派遣、本年度は、航空機部品製造業にてリーン手法を取り入れた改善実践を実施

コース名	実施都市	参加者数	期 間	日 数
現場の問題解決・改善技法	プレトリア	32名	平成22年7月26日～7月30日	5日

注) A O T S : (財)海外技術者研修協会
 O V T A : (財)海外職業訓練協会
 J I C A : (独)国際協力機構
 A P O : アジア生産性機構

5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) コンサルティング (実績72社)

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

VM (Visual Management=目で見る経営) 活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム (FMS) の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・ファイリング・VMの推進、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、企業内教育体系の構築・整備、業績評価制度の導入・展開、職場力診断と職場力開発支援、中小企業の企業再生、マーケティング戦略の策定と展開、販売管理体制の確立、ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO22000認証取得のための品質保証体制の確立などのコンサルティングを実施。

2) 業務協力によるコンサルティング

①(株)日本商工経済研究所、静銀経営コンサルティング(株)、りそな総合研究所(株)、(株)ちばぎん総合研究所、(株)企業育成センター、SMB Cコンサルティング(株)、みずほ総合研究所(株)と業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同でコンサルティングを実施。

②中小企業基盤整備機構、各県庁・市役所及びその関連団体などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動を実施し、地域の中小企業の人材育成と企業の発展に協力。

(2) 企業内研修 (実績66社)

CAP (中産連アセスメントプログラム) による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、戦略マネジメント研修、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、若手・中堅自律型人材育成研修、コーチング研修、マネジャー養成研修、職場力強化研修、及び、5S・VM、在庫削減、品質管理、物流改善、ISO9001と14001認証取得のための内部品質監査員養成などをテーマとした研修を、企業内で実施。

(3) 公開セミナー等 (参加者958名)

1) 講演会・大会を1件実施

講演会・大会	テーマ (内容)	開催日	開催場所	発表企業名	参加者数
VM/見える化事例発表会	～VM/見える化成功の秘訣を導入企業の推進者より直接紹介する～	平成22年6月14日	アルカディア市ヶ谷	(株)サンワ 東洋パーツ(株) 矢崎部品(株) 自動車 機器生産技術室	147

2) 公開セミナーを57件実施

①生産・在庫・5S関連

- ・生産・事務現場/5S展開セミナー (2回) 17名
- ・5Sレベルアップセミナー (2回) 28名
- ・事務所の5S・ファイリング推進セミナー (4回) 46名
- ・生産現場の目で見える管理実践セミナー (2回) 24名

- ・生産管理改善実践手法習得セミナー 10名
- ・生産現場改革による徹底したコストダウンの進め方（2回）38名
- ・VM活動による管理・間接部門の見える化セミナー（2回）15名
- ・VM手法で食品工場のマネジメント力を向上！ 7名
- ・「VM／見える化」経営の進め方 15名
- ・「VM／見える収益管理の進め方」ー収益力を向上させるVM活動の推進ー 15名
- ・業務改革成功のノウハウとその進め方（2回）15名
- ・国内生き残りのための「モノづくり企業」全社改革の進め方（3回）36名
- ・全部門における新発想のムダ改善ームダ抽出からのコストダウン活動ー 17名

② ISO関連

- ・ISO9001内部品質監査員養成コース（4回）41名
- ・ISO14001内部環境監査員養成コース（3回）29名
- ・「ISO“スリム化／統合化／VM（見える化）”」でムダ取り実現（2回）26名
- ・ISO22000内部食品安全監査員養成コース 10名

③人材マネジメント関連

- ・人事考課力強化の進め方 7名
- ・真に効果的な人事考課運用と考課訓練の進め方 9名
- ・変革をになう力強い個々人をはぐくむアクションラーニングの進め方（2回）28名
- ・管理職とその候補者の意識改革を実現する人材アセスメントの活用と効果 6名
- ・もう一度見直す人材評価と動機づけ（7回）103名
- ・アクションラーニングの実践的な進め方 9名
- ・職場力向上の進め方（2回）55名
- ・中小企業の幹部社員の育成実践教育手法（2回）14名
- ・ライン部門のための即効人材育成法 12名
- ・昇進昇格前後の動機づけと意識改革の進め方 10名

3) 工場見学会を4件実施

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催

- ・(株)埼玉富士 工場見学会（2回）65名
- ・(株)日立コンピュータテクノロジー&マニュファクチャリング工場見学会（2回）91名

6. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

（長野コンサルティング部）

(1) コンサルティング（11社）

1) コンサルティング

- ①5S・ライン改善
- ②A-KOMIK導入

- ③生産管理システム
- ④方針管理
- ⑤標準化
- ⑥生産効率化
- 2) 研究企業指導
 - 中央会チャレンジ事業「技能伝承と多能工育成」
- (2) 企業内研修 (5社)
 - 1) 管理者研修
 - 2) 監督者の日々管理研修
 - 3) A-K O M I K研修
 - 4) I S O 9001内部監査員研修
- (3) 公開セミナー (参加者のべ85人)
 - 1) 仕事の教え方
 - 2) 未然防止型現場管理のすすめ
 - 3) 監督者交流会

開催日		研修内容
6期	第1回 4月22日	座学「監督者のあるべき姿」
	第2回 5月25日	工場実習 セラテックジャパン(株) (株)イングスシナノ (株)エヌ・イー オリオン機械(株)
	第3回 6月18日	
	第4回 7月22日	
	第5回 8月24日	
	第6回 9月29日	成果発表会
7期	第1回 10月28日	座学「監督者のあるべき姿」
	第2回 11月26日	工場実習 ニチアスセラテック(株)
	第3回 12月20日	演習「ビデオを活用した時間測定と標準作業組み合わせ票作成」
	第4回 1月20日	工場実習 アスザックフーズ(株) (株)丸信製作所
	第5回 2月21日	
	第6回 3月29日	成果発表会

7. 国際標準規格 I S O 関係事業活動

(I S O 事業部)

I S O 9001 / 14001、27001、22000、26000、10002、9100、T S 16949、O H S A S 18001 (国際 / 国内標準規格) 関係活動事業

(1) 事業活動の総括 (別表1参照)

- 1) I S O 9001 / 14001、27001など認証取得支援のためコンサルティング機関ならびに研修機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約50名が主任審査員、審査員ならびに審査員補 (J R C A、C E A R 認定) の資格を有するわが国屈指の機関として、155件のコンサルティング及び企業内訓練の支援活動を実施

- 2) 公開研修は延べ240回開催し、参加者数は2,255名
- 3) ISO9001及びISO27001の審査員研修機関〔(財)日本規格協会《JRC A》から認定〕、14001の審査員研修機関〔(財)産業環境管理協会《CEAR》から認定〕として審査員研修を拡大し実施
- 4) ISO9001、ISO14001及びISO27001の3つのコースを認定されている中部地区唯一の機関
- 5) VDA〔ドイツ自動車工業会〕と提携し、TS16949及びその他研修を実施

(2) 事業実績概要

1) ISO9001関連

①コンサルティング・企業内訓練 (72件)

認証取得支援、内部監査員養成・スキルアップ支援、統合システム、ムダ取り有効性診断、模擬審査、TS16949研修、その他受審・維持に係わる全般的なコンサルティング・企業内訓練を支援

②公開研修 (114回、1,059名)

- ・規格の解釈 (ISO9001:2008改定版 解説セミナー含む)
- ・内部監査員研修 (フォーマル&レベルアップ、プロセス対応)
(名古屋、浜松、静岡、大阪、富山、金沢、福井、松本、高松、岡山、福岡、仙台ほか)
- ・TS16949内部監査員コース
- ・経営に役に立つISO9001
- ・品質目標とプロセス指標
- ・IMS (統合マネジメントシステム)
- ・有効性診断プログラム
- ・文書スリム化実践
- ・VDA TS16949審査員コース、1st 2ndコース、6.3監査コース
- ・審査員養成コース
(JRC A 認定 3日間及び5日間コース:3回17名参加 名古屋)

2) ISO14001 (環境)

①コンサルティング・企業内訓練 (39件)

環境マニュアル・規定類作成支援、内部監査員養成・スキルアップ支援、環境影響評価、環境法規、環境報告書作成支援、排出権とCO₂、エコ検定、現場見学会、その他受審・維持に係わる全般的なコンサルティング・企業内訓練を実施

②公開研修 (94回、977名)

- ・規格の解釈と認証取得のポイント
- ・内部監査員 (フォーマル&スキルアップ研修)
(名古屋、静岡、浜松、大阪、富山、金沢、松本、岡山、福岡、仙台、札幌ほか)
- ・経営に役に立つISO14001
- ・有効性診断プログラム
- ・環境影響評価法
- ・環境法

- ・ 有益な E M S
 - ・ 本来業務の環境目標
 - ・ 審査員養成コース
 - (C E A R 認定3日間及び5日間、リフレッシュ 7回45名参加 名古屋)
 - ・ 省エネセミナー
 - ・ 第13回 欧州環境視察団を平成22年7月11日～18日に実施
 - スペイン、トルコ8名 (事務局含め 10名) 参加
- 3) O H S A S 18001 (労働安全衛生マネジメントシステム)
- ① コンサルティング・企業内訓練 (7件)
 - ② 公開研修 (7回 56名)
 - ・ 規格の解釈、内部監査員研修、リスクアセスメント研修ほか
- 4) I S O 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)
- ① コンサルティング・企業内訓練 (15件)
 - ② 公開研修 (4回 19名)
 - ・ 規格の解釈、内部監査員研修
- 5) I S O 22000 (食品安全マネジメントシステム)
- ① コンサルティング・企業内訓練 (6件)
 - ② 公開研修 (5回 33名)
- 6) I S O 9100 (航空、宇宙等の品質マネジメントシステム)
- ・ コンサルティング・企業内訓練 (4件)
- 7) その他
- ① コンサルティング・企業内訓練 (12件)
 - ・ V M
 - ・ V D A - Automotive Spice (試験担当)
 - ・ 問題解決研修
 - ・ C S R (企業の社会的責任) 研修
 - ② 公開研修
 - ・ 計測器セミナー (1回 13名)
 - ・ V M (2回 19名)
 - ・ I S O 研究会 (6回 37名)

別表1 平成22年度 公開研修等

公 開 研 修	実施回数	延参加人数
I S O 9001研修 (含 T S 16949)	107	1,034
9001審査員コース (3日、5日間)	3	17
V D A T S 16949審査員・1st 2ndコース・6.3監査	4	8
I S O 9001 (計)	114	1,059
I S O 14001研修	89	949
14001審査員コース (3日、5日間)	4	20
欧州環境視察団 (7/11-18) ※1	1	8
I S O 14001 (計)	94	977
I S O 27001	4	19
Pマーク	7	42
I S O 27001・Pマーク (計)	11	61
O H S A S 18001研修	7	56
I S O 22000 (H A C C P) 研修	5	33
計測器セミナー	1	13
V M研修	2	19
I S O研究会 ※2	6	37
その他 (計)	21	158
総 合 計	240回	2,255名

※1 第13回 欧州環境視察団を平成22年7月11日～18日に実施。

(スペイン・トルコ：8社8名参加／事務局を含め総勢10名参加)

※2 「H22年度 I S O研究会」を平成22年6月7日～平成23年3月10日 (全6回) 開催 (研究会員：9社9名)

8. Pマーク審査・研修事業活動

(Pマーク審査センター)

(1) プライバシーマーク審査事業

1) 勸日本情報処理開発協会 (J I P D E C) から認定を受けたプライバシーマーク審査指定機関 (認定コード：19) として、主として中部地区 (愛知、岐阜、三重、石川、富山) の事業所のプライバシーマーク認証及び更新のための審査業務を行う中部地区唯一の審査指定機関、現在、26名のPマーク主任審査員、審査員を擁す。

2) 本年度の審査申請・受付件数：382件

(内訳：愛知県260件 岐阜県37件 三重県17件 石川県32件 富山県16件

東京都15件 大阪府2件 福井県1件 静岡県1件 香川県1件)

(審査センター開設後の審査申請・受付累計件数は1,339件、現在登録数は643件)

3) プライバシーマーク制度説明会に講師派遣

(岐阜商工会議所、15名参加)

(2) プライバシーマーク研修事業

日本情報処理開発協会 (J I P D E C) から認定を受けたプライバシーマーク審査研修機関 (認

定コード：19) として、プライバシーマーク審査員研修・プライバシーマークフォローアップ研修等を実施

- ・プライバシーマーク審査員研修（4名参加）
- ・プライバシーマークフォローアップ研修（37名参加）

9. 情報セキュリティ監査事業活動

(情報セキュリティ監査センター)

(1) 監査・コンサルティング（6社）

経済産業省による情報セキュリティ監査制度に基づく、監査を実施する

1) 情報セキュリティ監査

2) コンサルティング

- ①5S及び衛生管理
- ②ISO9001認証取得
- ③企業の社会的責任（CSR）遵守のための企業行動憲章作成
- ④品質改善

(2) 企業内研修（4社）

1) 企業の社会的責任（CSR）基準構築のため現場研修

2) ISO27001内部監査員養成

3) ISO9001内部監査員養成

4) ISO14001内部監査員養成

(3) 公開セミナー等（参加者112名）

1) 公開セミナー

- ①公認情報セキュリティ監査人（CAIS）養成／トレーニングコース／ブリッジ研修
- ②情報セキュリティ監査ワークショップ【研究会】 Ver. 2.0
- ③クラウドワークショップ【研究会】 Ver. 1.0 Ver. 2.0
- ④クラウド活用及び情報セキュリティ対策事例

2) 視察団

①米国クラウド先進企業視察団（平成22年10月26日～30日）

参加者：10名

訪問先：アメリカ合衆国西海岸

シアトル～サンフランシスコ～シリコンバレー周辺

②アジア地域クラウド先進企業視察団（平成23年3月1日～6日）

参加者：9名

訪問先：シンガポール、ベトナム（ハノイ）

10. 日本経営管理標準（JMS）推進事業活動

（JMS事業部）

(1) JMS推進機構の活動

1) 理事会

開催日：平成22年6月10日

内 容：平成21年度年間活動報告、平成22年度年間活動計画審議

2) 企画委員会

第1回 開催日：平成22年5月12日

内 容：平成22年度年間活動計画案の事前説明と討議

第2回 開催日：平成22年7月30日

内 容：平成22年度活動「現場実践研究会」の具体的な討議

第3回 開催日：平成22年10月21日

内 容：第一回現場実践研究会「日本車輛製造(株) 豊川製作所」

第4回 開催日：平成22年12月1日

内 容：第二回現場実践研究会「ヤマハ発動機(株) AM事業部 AM第2技術部」

3) 現場実践研究会（上記企画委員会、第三回・第四回の他に開催）

開催日：平成23年2月25日（高周波熱錬(株) 平塚工場）

開催日：平成23年3月1日（日本車両製造(株) 豊川製作所）

開催日：平成23年3月3日（ヤマハ発動機(株) AM事業部）

(2) コンサルティング（31社）

JMSおよびトヨタ生産方式（TPS）を柱とした企業変革コンサルティングを実施

- ・産業機械メーカーにおける製造体質強化活動
- ・重機械メーカー 生産革新コンサルティング
- ・化学メーカー 4拠点における生産革新コンサルティング
- ・特殊鋼メーカー J I Tをベースにした生産革新
- ・ベアリングメーカー 業務品質向上活動、生産革新活動支援コンサルティング
- ・電力設備機器メーカー J I Tをベースにした生産革新
- ・食品メーカー 13事業所における設備生産性向上活動
- ・電気機器製品メーカー 生産革新コンサルティング
- ・試験機メーカー 生産革新コンサルティング
- ・建機メーカー 生産革新コンサルティング
- ・電線ケーブルメーカー 生産革新コンサルティング
- ・熱処理メーカー スピード&効率化 革新コンサルティング
- ・電機メーカー 最短リードタイムの実現に向けたコンサルティング
- ・食品製造メーカー 業務改善プロジェクト
- ・建材メーカー 設備生産性向上活動コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 企業体質強化コンサルティング

- ・鉄製品加工メーカー 改善塾
- ・陶器メーカー 企業体質強化支援活動
- ・自動車部品メーカー 全工程後補充生産体制コンサルティング
- ・重機メーカー 技術革新コンサルティング、コスト低減コンサルティング
- ・日用品メーカー 工場改善支援
- ・自動車部品メーカー生産革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 生産・物流一貫通貫革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 人事制度改革コンサルティング、管理間接部門効率化コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 業務効率化コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 工程改善推進P Tコンサルティング
- ・食品メーカー 生産革新コンサルティング
- ・油脂化学メーカー 中長期人材マネジメントコンサルティング
- ・電子部品メーカー 品質向上活動コンサルティング
- ・輸送用機器メーカー 自工程保証推進支援コンサルティング
- ・トナーリサイクルメーカー 物流改善コンサルティング
- ・中国企業の企業革新コンサルティングの実施

(3) 企業内研修

- | | |
|-----------------------------|----|
| ・ J M S 研修 | 1社 |
| ・ 管理能力向上プログラム | 1社 |
| ・ 新入社員研修（P D C Aとチームワーク力向上） | 2社 |
| ・ ものづくりシュミレーション管理職研修 | 2社 |
| ・ ものづくりシュミレーション中堅社員研修 | 1社 |
| ・ ものづくりシュミレーション新入社員研修 | 1社 |
| ・ 物と情報と時間の流れ図を使った改善研修 | 1社 |
| ・ J I Tボード研修 | 1社 |
| ・ 標準作業の改善研修 | 4社 |
| ・ 標準作業票を使った改善研修 | 1社 |
| ・ V E / I E 研修 | 1社 |
| ・ T P S 研修 | 1社 |
| ・ コミュニケーション研修 | 3社 |
| ・ Q Cサークルリーダー研修 | 1社 |
| ・ 指導者研修 | 1社 |
| ・ 社内講演会 | 2社 |

(4) Back Upプログラム (指導先企業向け勉強会)

セミナー名	テ ー マ	開 催 日	参加者数
2010年度 BACK UPプログラム	全社的改革・改善活動 推進者の役割	8月27日	7
2010年度 BACK UPプログラム (第2回)	製造部門監督者の日常管理	11月11日	16

(5) 講演会および公開研修

1) J M S 推進機構

セミナー名	テ ー マ	開催日	開催場所	講 師	参加者数
J M S 推進機構×日経 ものづくり共催企画 《モノづくり経営実践 セミナー》	日経ものづくりにて大好 評の連載『勝つ設計』筆 者による『勝てるモノづ くり』への道	5月27日	ウイंकあいち	(株)V P M技術研究所 代表取締役所長 佐藤 嘉彦 氏	25
J M S 推進機構特別企 画	組織で目標を達成するた めのマネジャーの“行動” 実践ヒント集発刊報告会	7月9日	トヨタテクノ ミュージアム 産業技術記念館 大ホール	J M S 推進機構理事長 新美 篤志 氏 (トヨタ自動車(株) 代表取締 役副社長) リンナイ(株) 長坂 隆 氏 (同社常務執行役員生産本 部長 J M S 推進機構企 画委員長) N E Cアクセステクニカ(株) 森山 慶一 氏 (同社執行役員)	262

2) モノづくり企業支援 公開プログラム

セミナー名	テ ー マ	開催日	開催場所	講 師	参加者数
未来志向で語る、経営 と管理。	モノづくりの偉大な先輩 から次代を担う経営幹部 へ。	11月9日	ウイंकあいち	トヨタ紡織(株) 特別顧問 太田 和宏 氏 元(株)デンソー 製造・品質管理部長 村上 昭 氏 アスモ(株) 顧問 花井 嶺郎 氏	80

3) 実践型プログラム

実践型通年プログラム				
セミナー名	テ	マ	開 催 日	参加者数
JMS管理能力向上プログラム	～新たな時代を拓く～ 期待に応える部隊長をつくる！		各月開催 平成22年 4月14日 5月19日 6月16日 7月14日 8月18日 9月15日 10月13日 11月17日 12月15日 平成23年 1月19日 2月16日 3月16日	14
実践型プログラム				
セミナー名	テ	マ	開 催 日	参加者数
ジャストインタイム体験シミュレーション	体感を通して学ぶ、全体最適によるジャストインタイム生産！！		4月15日～16日	21
モノと情報の流れ図の描き方と活用方法	時代の変化に応じ、新たなモノづくり競争力を導き出す一手！		5月21日	17
モノづくりの原点回帰、そして、改革への次なる一手	「標準作業と改善」実践シミュレーション		7月15日～16日	12
			7月29日～30日	12
モノづくりの原点回帰、そして、改革への次なる一手	「標準作業と改善」実践シミュレーション		11月18日～19日	12
			12月2日～3日	12

4) JMSセミナー

階層別・プロセス別にJMSを活用した公開セミナーを実施。

セミナー名	テ	マ	開 催 日	参加者数
JMSトップセミナー	キャッシュフローを生む組織への変革 －縦の「論理」と側面の「情理」－		4月8日	11
JMS設備保全編	生産活動のいぶし銀設備保全への取り組み方		6月15日	10
JMS生産技術編	生産技術から発信する効率的な生産現場づくり		6月17日	14
JMS製造（現場管理と改善）編	組織で目標達成するための現場管理と改善の思考と行動		7月27日	7
JMS購買・仕入先管理編	今こそ収益改善！付加価値（率）を高める購買・調達部門の機能と動きとは！		9月28日	3
JMS生産技術編	生産技術から発信する効率的な生産現場づくり		11月16日	14
JMS設備保全編	生産活動のいぶし銀設備保全への取り組み方		12月7日	11
JMS営業編 顧客維持の営業戦略セミナー	新規開拓には金が掛かりすぎる！勝機は既存顧客の深耕戦略にあり！！		12月7日	6
JMS現場管理と改善	組織で目標達成するための現場管理と改善の思考と行動		12月21日	4
JMSトップセミナー	“内向き志向” “縮み志向” を打ち破るグローバル時代のマネジメント		3月3日	9

5) その他セミナー

セミナー名	テ ー マ	開 催 日	参加者数
営業力強化セミナー	顧客維持の営業戦略セミナー -新規開拓には金が掛かりすぎる！勝機は既存顧客の深耕戦略にあり！！-	5月13日	10
営業力強化セミナー	顧客創造の営業戦略セミナー -属人型営業から戦略的組織営業への変革-	6月17日	17
実践！職場づくり編	モノづくりの品質・価値を高める職場マネジメントの実践	8月20日	6
グローバル現場管理の抑え所	海外でのモノづくりを考える	1月18日	11

11. 職場活性化支援事業活動

(職場活性化支援センター)

(1) 調査・報告・相談等

「企業の職場活性化とメンタルヘルスに関するアンケート調査」の実施と報告書の作成、及び「電話相談窓口」にてハラスメントおよび管理者の悩み相談を実施

1) 調査・報告

中部地区におけるメンタルヘルスと職場活性化の現状把握、および、問題・課題を明らかにし、その解決に向けた取り組みを提案

- ・実施時期：平成22年7月
- ・実施方法：アンケート調査票郵送方式
- ・調査対象：中産連会員企業および取引先企業770社の経営者、安全衛生管理責任を持つ役員
- ・回答企業：138社（回収率18.0%）
- ・概要報告書の発表：平成22年9月16日
- ・マネジメント大会にて調査結果の発表：平成22年11月15日
- ・報告書発刊：平成23年1月31日

2) 相談窓口（メンタルヘルス・マネジメント・センター）

- ①ハラスメント相談窓口 年間契約（1社）
- ②管理職研修後カウンセリング相談（2社）
- ③出張カウンセリング（1社、2回）

3) 職場風土アンケート調査および報告（1社）

(2) 企業内研修

- 1) 職場のメンタルヘルス研修（5社、12回）
- 2) EQ向上セミナー（1社）
- 3) 指導員研修（2社、5回）
- 4) PMリーダー研修（1社）
- 5) 中堅社員コミュニケーション研修（2社、6回）
- 6) 管理職明るい職場づくり研修（コーチング）（1社、3回）
- 7) 相談の受け方研修（2社、4回）

- 8) 信頼関係をつくるコミュニケーション研修 (2社、3回)
- 9) グローバル人材研修 (2大学、4回)
- 10) マネジメント研修 (コーチング・コミュニケーション) (1社、2回)
- 11) ハラスメント防止講演会 (1社)

(3) その他

外国人留学生のキャリアコンサルティングに関する支援

12. トヨタ生産方式普及事業活動

(トヨタ生産方式研究会)

「トヨタ生産方式研究会」

本セミナー開講30周年を越え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙していくことを主眼に活動

・研究会概要

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	春 季 (第 63 回)		秋 季 (第 64 回)	
	期 間	参加者	期 間	参加者
PART I 「改善の進め方」講座 (春季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名 (秋季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名	平成22年 5月19日～ 21日 (3日間)	302名	平成22年 9月15日～ 17日 (3日間)	250名
PART II 「作業改善」研修 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 同 部 主査 二之夕裕美氏 松本 光一氏 (春季) アイシン精機(株)、(株)東海理化 トヨタ紡織(株)、豊田合成(株) (秋季) アイシン精機(株)、(株)デンソー トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)	平成22年 6月13日～ 18日 (6日間)	46名	平成22年 10月17日～ 22日 (6日間)	48名

13. マネジメント貢献事業活動

(マネジメント貢献事業部)

(1) 公開セミナー

- 1) 「経営後継者養成アカデミー (JEA) 〈43期〉」(研修修了生260名)

研修期間：平成22年4月～平成23年3月 全日制 (220日間)

参加者：2名

- 2) 技術経営研究会 (MOT) 〈1期〉 (日本政策投資銀行との共催)

研修期間：平成22年5月～平成23年3月間に、計14回実施

参加者：12名

3) 企業の外国人材活用支援

外国人材活用研究会の開催

期間：平成22年7月～平成22年10月間に、計4回実施

参加者：延べ35名

4) 「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業（経済産業省受託事業）

日本企業の海外進出に伴い、日本と現地との橋渡しをする能力を持ち、企業のグローバル化促進の中核となることができる「高度グローバル人材」が産業界より求められている。一方で、14万人を突破した外国人留学生の多くが、卒業後、日本での就職を希望しており、産業界と外国人留学生とを結びつけるプラットフォームの構築が必要である。

本事業では、①ビジネス日本語・日本ビジネス教育事業②インターンシップ事業③就職支援事業④プロジェクトマネジメント事業等を通じて、外国人留学生が日本企業で活躍するための支援を行う。

その支援の結果として、自らの専門能力を存分に発揮することに加えて、日本企業のグローバル化促進を担うことができる人材を産業界に供給することを主目的とする。

・期間：平成19年～平成22年（4年間）＊事業スキームは2年間の継続事業

・プログラム参加大学：愛知大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知産業大学、愛知東邦大学、星城大学、中部大学、中京大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、名古屋市立大学、名古屋外国語大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、南山大学、名城大学、朝日大学、岐阜大学、中京学院大学、三重大学、四日市大学、富山大学、富山県立大学、金沢大学、金沢星陵大学、北陸大学、北陸先端科学技術大学院大学、福井大学、福井県立大学（計29大学）

・参加留学生数：69名（中部地域第3期生）

内訳：平成21～22年度（第3期生）69名

事業内容：

昨年度に引き続き「ビジネス日本語研修」を実施して日本語能力の向上を図るとともに、日本企業に就職してから必要とされるビジネス知識やビジネス慣行を習得する「日本ビジネス研修」を実施、また、個別の就職活動支援を引き続き実施

5) 「環境パートナーシップ・CLUB（略称：EPOC）」【受託事務局】

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、循環型経済社会の構築を目指し活動（平成12年2月17日設立）

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境

先進地域の形成を目指している。

＜環境パートナーシップ・CLUBの役員と会員数＞

会 長 松下 雋氏（日本ガイシ㈱ 代表取締役社長）
 副会長 川本 隆一氏（㈱I N A X 代表取締役社長）
 副会長 佐伯 卓氏（東邦ガス㈱ 代表取締役社長）
 副会長 小池 利和氏（ブラザー工業㈱ 代表取締役社長）
 副会長 新美 篤志氏（トヨタ自動車㈱ 代表取締役副社長）
 副会長 宮池 克人氏（中部電力㈱ 代表取締役副社長執行役員）
 副会長 加藤 宣明氏（㈱デンソー 代表取締役社長）
 総合事務局長 竹内 弘之（㈱中部産業連盟 副会長）
 ほか理事12名 監事2名 顧問10名
 会員数 273社（者）（平成23年3月末日現在）

(2) コンサルティング

- 1) システム認証取得支援（5社）
- 2) 生産システム活動支援（5社）

(3) 企業内研修

- 1) 階層別研修（2社）
- 2) 行政機関の管理者研修（4機関）
- 3) 大学内での就職支援研修（6大学）
- 4) 企業での研修（6社）

14. マネジメント研修事業活動

（マネジメント研修事業部）

分 野	プロジェクト数	社 数	参加者数
(1) 公開セミナー等	355	2,759	4,088
1) フォーラム	7	135	222
2) 研究会	2	23	24
3) 海外洋上研修	1	73	133
4) 公開研修	324	2,348	3,336
5) 視察団	2	14	21
6) 海外研修団受入	14	166	352
7) 補助事業	1		
8) 受託事業	1		
9) 受託事務局	3		
(2) コンサルティング	18		
(3) 企業内研修	149		
合 計	522	2,759社	4,088名

(1) 公開セミナー等（参加者4,088人）

フォーラム・公開研修等の企画実施・年間355コース

1) フォーラム

①モノづくり応援フォーラム

テーマ(内容)	開催日	講師	参加者数
頑張る日本の製造業!!	平成23年3月22日	ダイハツ工業株 取締役会長 白水 宏典氏 他9名	163名

②ヤング・エグゼクティブ・フォーラム（全12回コース）

③モノづくりと人づくり 心の伝承塾

（経営者・役員コース・管理者コース・中堅コース／計4コース）

2) 研究会

①モノづくり研究会（全7回コース）

②産業技術研究会（全5回コース）

3) 海外洋上研修

第26回中産連“創造の船”

期 間：平成22年10月24日～10月30日（7日間）

訪問都市：北京・天津・上海・深圳・香港

4) 公開研修

①階層別研修

取締役研修、経営幹部研修、管理者・監督者・中堅社員の基本研修、新入社員研修シリーズ、接
遇・ビジネスマナー研修等

浜松開催階層別セミナー（5コース）

②生産部門研修

製造部門階層別（上級管理者研修、製造部課長研修、T W I 初級管理者研修、現場リーダー実践
研修、製造現場社員研修、実践部下管理研修）、現場経営者研修（工場経営）、現場リーダーの時
間活用術、現場リーダーのための改善力向上、製造現場リーダーの職場安全「0災害」、生産管理
のすべて、I E手法による現場改善、モノづくり現場のムダ退治、ムダ取り改善力向上、ボカミ
ス撲滅への体質改善と対策、設備の日常点検と管理、現場の「油圧・空圧」、多能工育成の具体
的手法、現場の「電気・P C」、オペレーターの設備保全の基礎、品質管理セミナー、5S実践セ
ミナー、電気・電子回路設計教室（土曜日7日間コース）、機械加工入門研修、切削加工塾、難削
材の削り方と切削工具の最新動向、熱処理の基本、小集団活動、検査業務の取り組みと進め方、
外観検査、外注品質向上対策、Q C 7つ道具の活用法、総合生産管理システム、ユニーク企業見
学会、モチベーション企業見学会等

浜松開催生産セミナー（17コース）

③原価管理・購買部門研修

原価のしくみと業務への活用法、原価情報作成法、購買部課長の実務研修、購買・外注担当者の

基本と実務研修、単価交渉・値引き交渉、購買折衝、即戦購買力、購買業務とコストダウン、「新・VEの基本」実践セミナー、VEリーダー認定試験受験対策講座、VEスペシャリスト（VES）養成講座等

④営業部門研修

営業マネージャーの役割と実務、第一線営業職実践研修、新任営業担当者、技術営業マン、営業初心者実践研修、営業鉄則と商談話術、セールストーク、営業アシスタント実践研修、営業レター、提案型営業、新規開拓の基本と応用、受注を勝ち取る価格設定と原価見積、折衝力・交渉力修得研修等

⑤経理・財務部門研修

経理基礎実務、決算書、簿記、年末調整、税務入門、原価管理の基本等

⑥人事・総務部門研修

海外勤務者の処遇と人事管理、人事労務の基本

⑦物流部門研修

物流担当者の役割と実務、実地棚卸と在庫削減の基礎、物流コスト削減と物流業務の生産性向上、在庫管理の基礎とコストダウン

⑧ヒューマンスキル・ビジネススキルアップ研修

プラス思考の習得とチャレンジ精神の育成、楽観（EQ）思考、上司のコーチング術、製造現場のコーチング、人を動かすビジネスコミュニケーション、職場のメンタルヘルス（心の安全研修）、メンタルタフネス、職場モチベーションの創り方、段取り仕事術、プレゼンテーション、部下力（フォロワーシップ）の磨き方、質問力、気配り上手の仕事術、チームビルディング、リーダーシップ養成、マーケティング、A3用紙1枚の企画書作成術、人を育てる「ほめ方・叱り方」、聴き上手になる研修、決め事（ルール）を守らせる、読解力・図解力スキルアップ、契約書の基礎知識と実務、人を育てるハウレンソウ徹底の進め方、仕事の教え方、バランススコアカード実践、ファシリテーション、監理監督者／若手・中堅社員の異業種交流研修、イマドキの若手の育て方、パソコン内ファイルの整理整頓、PDCA、問題解決力（ロジカルシンキング・クリエイティブシンキング）、社会保険労務士受験専門講座（基本コース、横断整理コース、直前集中コース、模擬試験）等

⑨技術・開発・設計部門研修

製図技能教室、機械設計製図講座、図面の見方・読み方、商品企画力・開発力、開発設計の原価企画、設計検図のポイントと進め方、設計段階での原価低減、設計のムダ退治とコストダウン、設計審査（DR）、治具・工具設計、設計部門のボカミス・凡ミス撲滅、技術者のための文章力向上、プレス設計等

浜松開催技術開発セミナー（4コース）

⑩貿易部門研修

貿易実務入門、交渉と契約の進め方

⑪食品製造部門研修

食品衛生、異物混入、5S+殺菌・消毒、PRPとSSOP等

- ⑫コンサルティング紹介セミナー
 - 経営戦略、教育計画づくり、J I T生産方式
- 5) 視察団
 - ① S A E 2010国際自動車技術会と米国新産業視察団
 - 期 間：平成22年4月12日～4月18日（7日間）
 - 訪問都市：デトロイト、サンノゼ、サンフランシスコ
 - ②インド産業視察団
 - 期 間：平成23年3月8日～3月14日（7日間）
 - 訪問都市：デリー、バンガロール、アグラ
- 6) 海外研修団受入
 - 中国製造業企業管理技術訪日研修団（11コース）
 - ドイツ経営システム視察団
 - ロシア「T P S 研究」視察団
 - 韓国「T P S 教育」研修団
- 7) 補助事業
 - 全国中小企業団体中央会より補助金を受け、「ものづくり分野の人材育成・確保事業（ものづくり担い手事業）」を実施
- 8) 受託事業
 - 経済産業省中部経済産業局より「次世代自動車分野における人材育成環境整備に係る調査事業」を受託し実施
- 9) 受託事務局
 - ①(社)日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部の業務受託
 - V E 研修、中部建設V E 研究会、原価企画とV E 研究会、V E 効率化研究会、中部V E 大会、中部V E 懇話会その他を実施
 - ②日本設備管理学会 本部
 - 業務受託（総会・シンポジウム、大会の実施）
 - ③日本設備管理学会 東海支部
 - 業務受託（総会・シンポジウムの実施）
- (2) コンサルティング（18プロジェクト）
 - コンサルティングの企画・提案
 - 1) 生産現場改善コンサルティング
 - 2) 人事制度・組織改革コンサルティング
 - 3) コーチングスキルアップ支援
 - 4) 中国プロジェクト
 - 中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民営企業に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

(3) 企業内研修（149プロジェクト）

企業内研修の企画・提案

- 1) 生産・製造現場研修
- 2) 開発部門研修
- 3) 人事制度・組織改革と定着
- 4) 階層別基本研修、管理能力向上研修、新入社員研修
- 5) 営業管理能力向上研修
- 6) ビジネススキルアップ研修
- 7) ヒューマンスキルアップ研修
- 8) OJTインストラクター研修
- 9) 財務／税務研修
- 10) コンプライアンス
- 11) カウンセリング・メンタルヘルス
- 12) 貿易実務研修
- 13) ISO規格の解釈
- 14) OHSAS（労働安全衛生リスクアセスメント）

15. 新規プロジェクト事業活動

（プロジェクトチーム）

第1期末曽駒塾（次世代経営リーダー啓発の場）の開講

(1) 塾の目的

- ・中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の思いにより、中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成するために開講。
- ・中部産業界ゆかりの地にちなんで「木曾駒塾」と名づけ、発起人の講義による思いの共有とディスカッションによる切磋琢磨を中心とした研修を実施。
- ・中部産業界の将来を担うリーダー候補が、29社から29名参加。

(2) 塾の概要

1) 発起人〔50音順〕（役職名は開講時のもの）

岡田 邦彦氏（J.フロント リテイリング㈱相談役）

小澤 正俊氏（大同特殊鋼㈱代表取締役会長）

川口 文夫氏（中部電力㈱相談役）

柴田 昌治氏（日本ガイシ㈱代表取締役会長）

須田 寛氏（東海旅客鉄道㈱相談役）

多賀 潤一郎氏（イビデン㈱最高顧問）

内藤 明人氏（リンナイ㈱代表取締役会長）

渡辺 捷昭氏（トヨタ自動車㈱代表取締役副会長）

竹内 弘之（社）中部産業連盟副会長）

【コーディネーター】

青井 倫一氏（慶應ビジネススクール教授（元同スクール校長））

2) カリキュラム

第1講から第6講まで全6回の講義とグループ討議。なお、第2講から第4講は、木曾駒高原ホテルでの2泊3日の合宿にて実施。

テ ー マ	講 師	開催日	開催場所
第1講 「ふたつの経営論（交通経営、観光経営）」	東海旅客鉄道株 相談役 須田 寛氏	平成22年 8月25日	名古屋東急ホテル
第2講 「『漱石』をたずねて」	イビデン株 最高顧問 多賀 潤一郎氏	平成22年 10月8日	木曾駒高原ホテル
第3講 「経営と武士道」	リンナイ株 代表取締役会長 内藤 明人氏	平成22年 10月9日	木曾駒高原ホテル
第4講 「不易流行」	大同特殊鋼株 代表取締役会長 小澤 正俊氏	平成22年 10月9日	木曾駒高原ホテル
第5講 「規制緩和の歩みと市場経済を考える」	中部電力株 相談役 川口 文夫氏	平成22年 12月3日	中産連ビル
第6講 「環境変化と次世代リーダーへの期待」	トヨタ自動車株 代表取締役副会長 渡辺 捷昭氏	平成23年 1月21日	中産連ビル

3) 成果発表会（平成23年3月2日 名古屋東急ホテル）

発起人、講師、参加企業の会長、社長をはじめ経営者の方々をお招きし、実施。

16. 会員事業活動

（会員事業部）

(1) プロGRESS（中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌）の発行

新しいマネジメントの提言、経営戦略の紹介など、実践的内容で高い評価を得ている。毎号、テーマを設定した特集を組む編集形式で、産業界の関心の高いテーマを特集企画としてとりあげた。

（別表2参照）

(2) 会員懇話会（無料講演会）

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマをとりあげ、開催（別表3参照）

(3) 経営法務相談室（無料）

経営全般に関する無料相談室と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設

（別表4参照）

(4) 中産連ビデオサービス

メンバー登録制によるビデオギャラリーを開設、企業内研修等に活用（別表5参照）

- (5) 受託事務局
- ・日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部（別表6参照）
 - ・日本広報学会中部部会（別表7参照）
- (6) 中産連ホームページ
- 当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業へのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応
- (7) 中産連人材育成フォーラム
- 創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成の提案と平成23年度研修事業計画を説明（別表8参照）
- (8) マネジメント小冊子（無料）の発行
- ・「平成22年度中産連会員懇話会抄録集」
- (9) 中産連案内パンフレット
- (10) 公開研修会案内冊子（無料）の発行
- (11) 岐阜県中小企業応援センター共催セミナー（別表9参照）

別表2(1) 平成22年度上期ブログレス主要記事

月号	表紙	潮	流	特集テーマ	内容	懇話会抄録	その他
4月号	名古屋ヒルトン㈱ 「スカイバンケット 『ONE O FIVE』 ニューオーブリン」	トヨタ紡織㈱ 相談役 好川 「経営と生産性」	純一氏	①世界的不況からの立ち上がり、そして新しい胎動 平成22年度(2010年)「中産連事業方針と計画」概要 中産連 副会長 総合事業本部長 竹内 弘之 ②元気の出る内部統制！～企業の長期的成長と発展を目指して～ 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 八田 進二氏	第495回 「技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか」 ～画期的な新製品が参入する理由～ 東京大学 特任教授 妹尾 堅一郎氏	コラム「大道無門」 「2008年問題」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏	
5月号	イチビキ㈱ 「食育施設『味噌の 鮎』オープン」	明治電機工業㈱ 代表取締役社長 安井 善安氏 「すべては人から始まる」	明彦氏	①組織文化という「両刃の剣」 ～組織文化変革の難しさ～ 名古屋大学大学院 経営学研究科 准教授 出口 将人氏 ②A-KOMIK思考による未来防止型「現場管理」のすすめ 中産連 長野コンサルティング部 研究員 富澤 祐子	第496回 「経営とV.E」 ～V.E原則と私の業務改善～ ㈱ファイナンス 代表取締役 木津 広美氏	コラム「大道無門」 「ビジネスモデル再考」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏	
6月号	㈱近藤組 「すまいの情報館 『Do! MESSE』3周年」	エステイーツール㈱ 取締役社長 内藤 史朗氏 「若者に求める『生命力』」	修二氏	①モノづくり経営から価値づくり経営へ ～経済的価値を創出するMOT (Management of Technology)～ ㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏 ②国際会計基準 (IFRS : International Financial Reporting Standards) への企業の対応 公認会計士辻中事務所 所長 辻中 修氏	第497回 「次世代自動車を取り巻く現状と未来」 ～拡がる選択股と可能性～ 日経ビジネス 副編集長 伊藤 暢人氏	コラム「大道無門」 「グローバル人材育成」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏	
7月号	㈱つま恋 名古屋営業所 「つま恋 チームビルディングプログラム」	㈱東郷製作所 取締役社長 相羽 繁生氏 「自分らしさ」	武郎氏	①リストラ後遺症の克服 ～リストラ後の成長戦略が企業の運命を決める～ 一橋大学大学院 商学研究科 教授 楠川 武郎氏 ②平成22年度中部産業連盟通常総会	第498回 「レアメタル資源セキュリティへの対応」 ～技術と情報で危機に備える～ 御産業界総合研究所 サステナブルマテリアル研究部門 部門長 中村 守氏	コラム「大道無門」 「車いすで広げるアジアへの貢献～日本初の企業が作ったNPO～」 ㈱アジア車いす交流センター (WAFCA) 事務局長 坂元 邦晴氏	
8月号	㈱安藤七宝店 「創業130周年」	生物多様性条約第10回締結国会議 支援助行委員会事務局長 小林 寛司氏 「生物多様性条約締結国会議が意味するもの」	勉氏	①カーボンマネジメントのすすめ ～省エネ法、温暖化対策推進法、国内クレジット制度を中心に～ 中産連 I SO事業部 上席主任コンサルタント 梶川 達也 ②「雲の向こうに未来が見える」クラウドコンピューティングの 話 ～どう付き合おうか、いかに活かすか～ ㈱情報経済研究所 代表取締役 日本クラウドセキュリティアライアンス ディレクター 勝見 勉氏	第499回 「新たな可能性を切り拓く技術ブランド 戦略とビジネスモデル構築」 ～起業とコア技術の分析・選択・展開・管理～ 同志社大学 商学部 教授 高井 紳二氏	コラム「大道無門」 「車いすで広げるアジアへの貢献～活動の状況編～」 ㈱アジア車いす交流センター (WAFCA) 事務局長 坂元 邦晴氏	
9月号	㈱ヨシタケ 「TSC II (テックニカル・セミナリー・センター)」	㈱高木製作所 代表取締役社長 高木 龍一氏 「事業承継」	康孝 一氏	①M I P (Management by Intelligent Process) による危機 突破マネジメントの提案 中産連 JMS事業部 コンサルタント 花井 康孝 ②V.M. (Visual Management) 手法によるメンバー参画型チーム マネジメント ～ブレインディングマネージャー、経験・力量不足の管理者のマネ ジメントを根底から変える！～ 中産連 東京本部 コンサルタント 原 裕二氏	第500回 「中国ビジネス最前線」 ～中国人に売る時代・巨大市場開拓の 成功法則～ ㈱中国市場戦略研究所 代表 向東氏	コラム「大道無門」 「車いすで広げるアジアへの貢献～日本(地域)での活動編～」 ㈱アジア車いす交流センター (WAFCA) 事務局長 坂元 邦晴氏	

別表2(2) 平成22年度下期ブログレス主要記事

月号	表紙	潮	流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他の
10月号	愛知工業大学 「新校舎1号館オープン」	プラザ工業㈱ 代表取締役専務執行役員 石川 茂樹氏 「マインド・リセット」	代表取締役専務執行役員 石川 茂樹氏 「マインド・リセット」	①5S・VMによる経営改革と魅せる工場づくり！ 浪江日本ブレーキ㈱ 取締役事業所長 園部 輝好氏 ②組織をリスク・危機の発生から守るためのリーダーの危機管理 パームコンサルティンググループ 代表 伊原 正俊氏	①人々を育てる会社から、人が育つ会社へ 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 花田 光世氏 ②グローバル展開における現地生産での留意点 中産連 トヨタ流通改善支援部 主任コンサルタント 川口 恭則 中産連 トヨタ流通改善支援部 主任コンサルタント 蟹江 正康	岐阜県ものづくりセミナー抄録 「モノづくり」から「価値づくり」への 転換 ㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏 コラム「大道無門」 「芸術・文化イベントの魅力」 ㈱名古屋文化振興事業団 理事長 規充氏	
11月号	愛知鉄鋼㈱ 「創立70周年事業 『鉄の教室』」	中央発條㈱ 取締役社長 高橋 德行氏 「日本のモノづくりの現場 の底力」	中央発條㈱ 取締役社長 高橋 德行氏 「日本のモノづくりの現場 の底力」	①2011年景況予測と企業動向調査 - 中産連役員45氏の予測 - (中産連役員アンケート集計より) 中産連 副会長 竹内 弘之 中産連 コンサルタント 加藤久仁明 ②2010年マネジメント課題総括・混乱低迷期における経営戦略の 課題 中産連 理事 JMS 事業部長 佐々木 元	第501回 「韓国企業・グローバル展開で急成長の 理由」 ～わが国企業は、どう立ち向かうのか～ 東京大学 ものづくり経営研究センター 特任研究員 吉川 良三氏	コラム「大道無門」 「国際美術展とメセナ」 ㈱名古屋文化振興事業団 理事長 規充氏	
12月号	東和不動産㈱ 「Brilliant Christmas 2010」	㈱電通 中部支社 執行役員 中部支社長 阿波 典久氏 「チャレンジングな日々」	㈱電通 中部支社 執行役員 中部支社長 阿波 典久氏 「チャレンジングな日々」	①2011年新春インタビュー「激動する世界のなかで」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏 ②2011年の東海経済 日本銀行 名古屋支店長 前田 純一氏	第502回 「嫌消費時代のマインドと市場攻略」 ～「欲しがるなさい」若者たちに、いか にモノを売るのか～ ㈱ジェイ・エム・アール生活総合研究所 代表取締役 松田 久一氏	コラム「大道無門」 「芸術は都市を変えられるか」 ㈱名古屋文化振興事業団 理事長 規充氏	
1月号	㈱中日新聞社 「品川フロントビル」 グラウンドオープン	中産連会長年頭ご挨拶 中産連 会長 池淵 浩介 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 大島 章宏氏	中産連会長年頭ご挨拶 中産連 会長 池淵 浩介 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 大島 章宏氏	①2011年新春インタビュー「激動する世界のなかで」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏 ②2011年の東海経済 日本銀行 名古屋支店長 前田 純一氏	第503回 「なぜ、あなたの組織は成果を上げられ ないのか」 ～ドラッカーのマネジメント思考～ 作家 岩崎 夏海氏	コラム「大道無門」 「21世紀を支える」 名古屋科学館 館長 石丸 典生氏	
2月号	吉岡電気工業㈱ 「新社屋(西館)竣 工」	ヤマハ発動機㈱ 代表取締役 専務執行役員 木村 隆昭氏 「原点回帰」	ヤマハ発動機㈱ 代表取締役 専務執行役員 木村 隆昭氏 「原点回帰」	①転換期における流通改革の進め方 ～低成長時代に対応する物流体制の構築～ ㈱イソーゴ総合研究所 主席コンサルタント 花房 陵氏 ②事業承継の本質 ～次世代に組織を引継ぐために必要なこと～ 中産連 コンサルティング事業部 上席主任コンサルタント 松井 茂	第504回 「『テフレ』の正体と企業の活路」 ㈱日本政策投資銀行 地域振興グループ 参事役 兼谷 浩介氏	コラム「大道無門」 「21世紀を支える(2)～共生～」 名古屋科学館 館長 石丸 典生氏	
3月号	富士電機リテイルン システムズ㈱ものつく り本部三重工場 「地域貢献活動『理 科出前授業』を開催」	三菱電機㈱ 執行役員 中部支社長 井口 功氏 「創立90周年を迎えて」	三菱電機㈱ 執行役員 中部支社長 井口 功氏 「創立90周年を迎えて」	①企業間取引における関係特殊性とマケケット・コンディション - 2000年代末の日本経済の大幅な落ち込みについて - 藤田保健衛生大学 教授・名古屋大学 名誉教授 皆川 正氏 ②ISO26000規格の解釈と中産連の取り組み 中産連 コンサルティング事業部 上席主任コンサルタント 渡辺 季幸	第505回 「『テフレ』の正体と企業の活路」 ㈱日本政策投資銀行 地域振興グループ 参事役 兼谷 浩介氏	コラム「大道無門」 「21世紀を支える(3)・最終回～高生産性～」 名古屋科学館 館長 石丸 典生氏	

別表3 会員懇話会

開催日	テ マ	講 師	参加者数
4/15 第497回	次世代自動車を取り巻く現状と未来 ～拡がる選択肢と可能性～	伊藤 暢人氏 (日経ビジネス 副編集長)	180
5/21 第498回	レアメタル資源セキュリティへの対応 ～技術と情報で危機に備える～	中村 守氏 (細産業技術総合研究所 サステナブル マテリアル研究部門 部門長)	50
6/17 第499回	新たな可能性を切り拓く技術ブランド戦略 とビジネスモデル構築 ～起業とコア技術の分析・選択・展開・管理～	高井 紳二氏 (同志社大学 商学部 教授)	91
7/23 第500回	中国ビジネス最前線 ～中国人に売る時代・巨大市場開拓の成功法則～	徐 向東氏 (株中国市場戦略研究所 代表)	118
9/16 第501回	韓国企業・グローバル展開で急成長の理由 ～わが国企業は、どう立ち向かうのか～	吉川 良三氏 (東京大学 ものづくり経営研究センター 特任研究員)	107
10/19 第502回	嫌消費世代のマインドと市場攻略 ～「欲しがらない」若者たちに、いかにモノ を売るのか～	松田 久一氏 (株ジェイ・エム・アール生活総合研究 所 代表取締役)	81
11/19 第503回	なぜ、あなたの組織は成果を上げられないのか ～ドラッカーのマネジメント思考～	岩崎 夏海氏 (作家)	432
1/18 第504回	「デフレ」の正体と企業の活路	藻谷 浩介氏 (株日本政策投資銀行 地域振興グルー プ 参事役)	129
2/7 第505回	新興国市場開拓に向けた日本企業の課題と 戦略	新宅 純二郎氏 (東京大学大学院 経済学研究科・もの づくり経営研究センター 准教授)	130
3/10 第506回	“不機嫌な職場”は変えられるのか ～社員が協力し合える組織の作り方～	高橋 克徳氏 (株ジェイフィール 代表)	107

別表4 法律・経営相談室（無料）

月 日	申込者	内 容	アドバイザー
6/11	A社	・海外赴任国への所得税および社会保険料の納め方 ・海外勤務者の給与算定方法	上席主任コンサルタント 松井 茂
11/30	B社	・親族への贈与に関する税金負担について	上席主任コンサルタント 松井 茂

別表5 中産連ビデオサービス

	通期合計
新規登録会員数	4社
会員数	166社
ビデオ貸出総数	22本
ビデオ貸出件数	6社

別表6 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
4/15	次世代自動車を取り巻く現状と未来 ～拡がる選択肢と可能性～	伊藤 暢人氏 (日経ビジネス副編集長)	24
5/18	科学的管理法の父 フレデリック・W・テイラー	上野 一郎氏 (学産業能率大学 最高顧問 SAM日 本チャプター 常任顧問)	30
6/15	赤十字の国際救援活動と職員の意識向上	石川 清氏 (名古屋第二赤十字病院 院長)	17
7/20	次世代自動車産業の深層と東海地域のグ ローバル連携	竹野 忠弘氏 (名古屋工業大学大学院工学研究科 経 営戦略研究室 准教授)	15
8/17	賦 ～おかげさまで40年～	村橋 元氏 (株ユニオン 代表取締役)	16
9/21	明治維新を考える ～「天保改革」の時代とアヘン戦争～	市川 雄二氏 (三重歴史研究会 会長)	22
10/19	嫌消費世代のマインドと市場戦略 ～「欲しがらない」若者たちに、いかに モノを売るのか～	松田 久一氏 (株ジェイ・エム・アール生活総合研究 所 代表取締役)	15
11/16	芸術・文化イベントの魅力	相羽 規充氏 (メナード美術館 館長)	13
11/19	なぜ、あなたの組織は成果を上げられな いのか ～ドロッカーのマネジメント思考～	岩崎 夏海氏 (作家)	14
12/13	レクサス星が丘におけるブランドづくり の歩み	山口 茂樹氏 (キリックスリース(株) 代表取締役社長)	22
1/18	「デフレ」の正体と企業の活路	藻谷 浩介氏 (株日本政策投資銀行 地域振興グルー プ 参事役)	22
2/3	江戸の豪商にみるリーダーシップ	桐山 勝氏 (桐山勝事務所 代表)	14
3/15	万年筆との出会いが私を変え、店を変え た	竹内 さちよ氏 (株竹内文具店 店長)	15

別表7 日本広報学会 中部部会

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
10/6	中部電力㈱の広報活動	第21回中部広報塾 講演会： 大塚 和則氏 (中部電力㈱ 広報部 ブランド推進 グループ長)	28
12/2	メディア取材をよびこむ、「地域資源・ 経営資源」活用の仕組みづくり 地域魅力を創り、訴え、成果を上げる	広報シンポジウム 基調講演： 河井 孝仁氏 (東海大学 文学部 広報メディア学 科 教授) パネルディスカッション： ・パネリスト 鈴木 恵子氏 (豊橋観光コンベンション協会 事業 推進部 次長) 安藤 竜二氏 (㈱DDR 代表) 村井 清隆氏 (中京テレビ放送㈱ 制作プロデュー サー)	49

別表8 中産連人材育成フォーラム

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
12/7	また会いたいと思われる人の38のルール アサヒビールの国際人材育成 ～新たな取組み「Global Challengers Program (GCP)～」	吉原 珠央氏 (DC & Image Consulting) 三浦 一郎氏 (アサヒビール㈱ 人事部チーフプロデュー サー)	217

別表9 岐阜県中小企業応援センター共催セミナー

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
7/28	ものづくりセミナー 「モノづくり」から「価値づくり」への 転換	島 裕氏 (㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援 センター長)	123
9/14	経営革新セミナー① 新たな価値の創出のための戦略マネジ メントプログラム	大竹 裕一 (中産連 主席コンサルタント)	39
10/14	経営革新セミナー② 中小企業経営者のための事業再生支援	山村 充 (中産連 コンサルタント)	24
11/19	経営革新セミナー③ 中小企業における事業承継のポイント	松井 茂 (中産連 上席主任コンサルタント)	18
12/6	経営革新セミナー④ ITを活かした経営管理	渡辺 季幸 (中産連 上席主任コンサルタント)	17

Ⅲ. 業 務 報 告

1. 会 勢

平成23年3月末日現在の会員数は789社（入会26社、退会12社）である。

2. 会 議

(1) 総会

平成22年度通常総会

と き 平成22年6月17日(木) 14時～15時25分

と ころ 名古屋東急ホテル（3階 ルネッサンスの間）

出席会員 521会員

（中部経済産業局より地域経済課課長補佐臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成22・23年度役員（理事・監事）選任の件
- (2) 平成22・23年度名誉会長推薦の件
- (3) 平成22・23年度顧問推薦の件
- (4) 平成22・23年度評議員選任の件
- (5) 平成21年度事業報告および収支決算書類承認の件
- (6) 平成22年度事業計画および収支予算審議決定の件
- (7) 新法人制度移行方針（案）に関する件

ii 報告事項

(2) 理事会

第261回理事会

と き 平成22年5月21日(金) 12時55分～14時

と ころ 名古屋観光ホテル（2階 曙東の間）

出席者 理事44名、監事1名

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成22年度通常総会開催日時および場所決定の件
- (2) 上記総会に提出すべき下記議件審議の件
 - 1) 平成22・23年度役員（理事・監事）選任に関する件
 - 2) 平成22・23年度名誉会長推薦に関する件
 - 3) 平成22・23年度顧問推薦に関する件
 - 4) 平成22・23年度評議員選任に関する件
 - 5) 平成21年度事業報告および収支決算案に関する件
 - 6) 新法人制度移行方針（案）に関する件

- (3) 平成22・23年度会長、副会長、常任理事および専務理事の互選に関する件
- (4) 平成22・23年度相談役推薦および参与委嘱同意の件
- (5) 平成21年度下期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

臨時理事会

と き 平成22年6月17日(木) 14時10分～14時20分
 と ころ 名古屋東急ホテル (3階 ロマネスクの間)
 出 席 者 理事45名、監事2名
 議 件 議決事項
 平成22・23年度会長、副会長、常任理事および専務理事の互選

第262回理事会

と き 平成22年11月18日(木) 12時50分～13時45分
 と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル (3階 松竹の間)
 出 席 者 理事45名、監事1名
 (中部経済産業局より地域経済課長臨席)
 議 件 i 承認事項
 (1) 平成22年度上期新規入会会員の承認を求める件
 ii 報告事項
 (1) 平成22年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件
 (2) 平成22・23年度「会友」委嘱の件
 (3) 一般社団法人への移行に向けた新定款(案)について
 (4) その他

第263回理事会

と き 平成23年3月23日(水) 12時50分～13時50分
 と ころ 名古屋観光ホテル (3階 桂の間)
 出 席 者 理事45名、監事1名
 (中部経済産業局より地域経済課長臨席)
 議 件 i 議決事項
 (1) 平成23年度事業計画および収支予算案の件
 ii 報告事項
 (1) 公益法人制度改革への取り組みの件
 (2) 第2回評議員懇談会・交流会開催の件
 (3) 公認会計士交替の件
 (4) その他

(3) 第2回評議員懇談会・交流会

と き 平成23年2月7日(月) 13時30分～15時20分
 と ころ キャッスルプラザ (3階 孔雀の間、菊の間)

出席 池淵会長、常勤理事5名、執行理事3名、評議員24名
議件 中産連の事業紹介、意見交換

3. 庶務

(1) 主務官庁への報告

- 1) 平成22年4月28日付経済産業大臣宛、登記事項変更登記完了届（理事変更）の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・辞任理事名簿
 - ・登記簿謄本
- 2) 平成22年6月30日付経済産業大臣宛、平成21年度事業報告書及び収支決算書並びに平成22年度事業計画書及び収支予算書の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・平成21年度事業報告書
 - ・平成21年度収支決算書及び財産目録
 - ・平成22年度事業計画書
 - ・平成22年度収支予算書
 - ・総会議事録謄本
 - ・当該事業年度末の社員名簿
- 3) 平成22年7月22日付経済産業大臣宛、理事変更登記完了届、監事変更届の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・理事新旧名簿
 - ・理事就任承諾書（写）、略歴書（写）
 - ・登記簿謄本
 - ・監事新旧名簿
 - ・監事就任承諾書（写）、略歴書（写）
 - ・総会議事録謄本

(2) 登記事項

- 1) 平成22年4月13日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。
- 2) 平成22年7月12日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。

(3) 職員の状況

平成23年3月末日現在の正職員は男子97名、女子42名の合計139名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・日本経営管理標準（JMS）推進機構
- ・環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）
- ・JEA経営研究クラブ（JEC）

- ・経営企画士会（社）全日本能率連盟登録）
- ・（社）日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部
- ・日本設備管理学会 本部・東海支部
- ・日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部
- ・日本広報学会 中部部会

(2) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている13公益法人（機関）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。

5. 役・職員の対外的協力活動

竹内 弘之

- （社）全日本能率連盟副会長
- 経済産業省関係公益法人厚生年金基金理事・代議員
- 愛知工業大学経営学部客員教授
- JMS推進機構専務理事
- 環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長
- （財）人工知能研究振興財団監事
- 東海工学教育協会監事
- （財）科学技術交流財団監事
- （社）科学技術と経済の会運営委員会委員
- 平成クラブ顧問
- （財）中部電気保安協会評議員
- BPIA（ビジネスプロセス革新協議会）副会長
- 日本ニュービジネス協議会代議員
- 中部ニュービジネス協議会理事
- なごや環境大学実行委員会委員
- （学）日本福祉大学評議員
- とくしま経営塾「平成長久手館」運営会議顧問
- （財）永井科学技術財団評議員
- （財）内藤科学技術振興財団評議員
- 中部運輸局 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議委員
- 愛知環境賞選考委員会委員
- 愛知ブランド評価委員会委員
- 名古屋大学大学院経済学研究科外部評価（社会的評価）委員会委員
- 次世代産業情報発信モデル構築調査事業における検討委員会委員長
- 愛知県70歳まで働ける企業推進プロジェクト作業部会委員

愛知県あいち自然環境保全戦略推進委員会委員

五十嵐 瞭

(社)全日本能率連盟全国能率大会論文委員会委員

(社)全日本能率連盟マネジメント関係資格称号自主規制審査委員会委員

清水 益文

(社)全日本能率連盟MC認定制度審査会制度委員会委員

(社)名古屋工業会監事

佐々木 元

名城大学非常勤講師

永見 保幸

専門団体連絡協議会委員

(社)全日本能率連盟組織委員会委員

石原 聖治

朝日大学非常勤講師

柘植 吉則

椋山女学園大学非常勤講師

名古屋工業大学非常勤講師

山崎 康夫

東京造形大学非常勤講師

寒河江 克昌

(社)全日本能率連盟全国能率大会企画委員会委員

梶川 達也

中部大学非常勤講師

日本福祉大学非常勤講師